

## 商 況

販賣旬報 第148號 昭和5年12月11日

製鐵所販賣部

### 過去3ヶ年の鋼材供給状態(其5)

#### 4. 鋼板類

普通鋼板も便宜上0.7mmと以下に別けて記述する、其外には主要なものとして鉄力板と珪素鋼板と縞鋼板だけを拾つて見た。是等を寄せ集めた鋼板類總計はどの位かと云ふと3ヶ年平均で大凡75萬噸で條鋼類の約100萬噸に對して大して劣らぬ消費力を持つて居る。

今迄取扱つた鋼材統計で一番完全なものは此鋼板である、此れ以外の諸鋼材は大體昭和2年から寸法別に略々完全に近い統計が出来たが鋼板だけは昭和4年分からどうやら信を置ける寸法別の統計が出来たのみである。

従つて此處に掲げた寸法別の數字でも昭和2年と3年の分は多分の推定を含んで居るから其の積りで讀んで頂きたい。

つまり、昭和2年、3年は「年報」に示す通り1mm—2mm、2mm—3mmなど云ふ中に含有されて居たものを昭和4年の實績から推定して數字を出したのである。

是等の統計材料も今こそ各メーカーも其眞意を擲んで呉れて惜氣もなく呈出して下さるが、昭和元年、2年頃は單なる生産統計でさへも何か特別の秘密が藏されて居るかの様に思はれたであらう、色々とお願ひして見ても「私の處は統計など作つて居る暇がありません」とか何とか仲々故障があつて困つたのである、然るに今年のように色々の統制機關など企畫され組合など作るなど先立つものは數字で今更騒いたとて中々追いつかず、やつと其使用價値に目醒める様になつたと思はれる。

然し此も供給統計が漸く完成の域に近づいただけで、内地生産が増加するに連れて早速輸出統計が焦眉の急となつた許りでなく、それより大問題は「消費統計」である之れには官民一致の協力が切要で、然も是非著手しなければならぬもの一つである、つまりこう云ふ不況時などになると消費力の變遷は全く五里霧中であるのは消費統計が無いから見當が付かないので何より遺憾とする處である。

a 鋼板(0.7耗超) これにも區分に就て色々の呼稱がある、薄板、中板、厚板がそれである、然も其基礎が雜多である、製鐵所の工場別から云ふと大體1mm

以下を薄板と云ひ、1mm超6mm未滿を中板と云ひ、6mm以上を厚板と云ふ、然るに1部では0.7mm以下を薄板と云ひ中板はそれから3mm迄、厚板を3mm超とも云ふし、また、人に依つては45mm以上を厚板とも云ふし要するにまちまちで歸着する處を知らない、之れも他の大型、中型、小型などの稱呼と同様統制する必要があらう、そうでないと色々の比較統計上誠に不便を感じて常に勞して功虧なき事ばかりやらなければならぬ。

#### 鋼板(0.7mm超)

寸法\區分	總供給數量				3ヶ年平均	3ヶ年平均増(減)率
	昭和2年	昭和3年	昭和4年	3ヶ年平均		
1.6mm	29,029	43,439	49,829	40,766	32.18%	
2.3	16,230	16,070	18,575	16,958	7.33	
3.2	22,123	32,295	29,717	28,045	19.00	
4.5	17,715	20,741	31,359	23,272	43.14	
6	39,721	25,258	39,660	34,880	10.31	
8	45,424	25,129	23,350	32,968	(15.93)	
9	24,637	31,439	56,710	37,696	53.23	
11	36,343	38,002	30,510	34,952	(7.58)	
12	17,244	24,553	40,214	27,337	53.08	
14	5,276	32,363	21,018	19,552	239.18	
16	16,221	18,212	19,832	18,088	10.58	
19	5,198	15,892	21,686	14,259	108.51	
25	8,787	20,607	17,119	15,504	58.60	
100	8,445	19,975	11,604	13,341	47.32	
其他	2,656	2,509	298	1,821	—	
計	295,349	366,484	416,483	359,439	18.86	

それは扱て置き此0.7mm超鋼板は鋼板類總計75萬噸の約半數を占めるもので主要な14寸法に區分して見てもどれもこれも皆1萬噸以上のもの許りである。其内でも1.6mmは第一位の4萬噸と云ふ大量で其増加率も目醒ましい、之れは近來漸次歐風建築に變るに従つてのサツシュ材や鋼鐵車輛用など色々新用途を見出した爲と云はれて居る。之に次いで11mm、6mm、8mmなどシャ-材が鐵骨建築の旺盛を物語つて居る。

今耳付板問題として騒がれて居る45mm—25mmの3年平均數量は25萬8,500ある、この内どれだけ耳付板としてシャ-の手に懸るかは問題であるが現下の消費力のみを以て將來迄推すと云ふ事は餘程慎重な態度を要するのではあるまいか。

増加率に就ては前述の通り昭和2年、3年の數字が適確を缺くを以て敢て贅せず、只參考として載記した。

b 鋼板(0.7耗以下) 此寸法別の數字も0.7m

m 超と同様昭和 2 年が明確を缺いて居るのは残念であるが「計」の数字だけは動かないものである、猶昭和 4 年には中山薄鐵工場の約 1 萬噸内外ではないかと想像される数字を缺いて居ることもお断りして置く。

此 0.7mm 以下の鋼板も其名稱は中々多く、曰く薄板曰く黑板、曰く黒薄鋼板又は薄鐵板、黒薄原板等々の人氣である、板の字も金で作るから「板」だ、いや「板」だと五月蠅い事である。

鋼板 (0.7mm 以下)

寸法\區分	總供給數量			3ヶ年平均	3ヶ年平均増(減)率
	昭和 2 年	昭和 3 年	昭和 4 年		
B.W.G.No.					
33	1,156	1,528	1,786	1,490	24.53%
30	191,435	224,345	186,037	200,606	0.06
28	31,570	18,344	39,006	29,640	35.37
26	23,910	20,725	8,829	17,821	(35.36)
25	3,307	2,435	5,233	3,658	44.27
24	6,239	3,588	4,650	4,826	(6.45)
23	2,508	6,481	5,283	4,757	69.95
其他	—	319	524	281	32.13
計	260,125	277,765	251,348	263,079	(1.37)

此 0.7mm 以下鋼板と線材、鋳力は元來輸入の三大宗で思惑屋の好目標となり、此生活必需品を盛に投機の對照としたものである。

然るに 0.7mm 以下鋼板は昭和 4 年に於ける川崎造船製鐵工場及中山薄鐵工場の進出と共に一舉に輸入を驅逐した感がある、(年報第 1 表其 1、其 2、其 3 参照) 即ち昭和 2、3 年に於ては 17、8 萬噸の輸入で全數量の 70% 近くを占めて居たものが昭和 4 年には俄然 10 萬噸の輸入減となつて只の 8 萬噸より輸入を見ない事になつた。即ち全數量の僅かの 1/2 に減退した、用途としては、御存じの通り亞鉛引鐵板の原板として使用されるものが主要なものである。

其内でも常識的にトタン板と云へば 30 番を意味する程徹底した需要を持つ 30 番の原板は此組の王座も王座全數量の約 80% を占めて斷然他を睥睨して居る、それはよいとして實は 30 番と云ふのには所謂 13 枚物が大部分を占めて居る、即ち 30 番半である、一寸見ては 30 番と同じ様であるが實は 30 番よりチョビリ薄いものである、流石の製鐵所も 260 板から 268 板の民間と同じ枚數に増加するの已むを得ない状態となつた、處が外註品は噸 272 枚が 280 枚になる噂がある。

之は何を意味するか、要するに安くさへなればどんなに薄くてもよいと云ふ事になりはせぬか、見解の相違と云へばそれまでだか、どうも使用者に親切の様には思へないのである。

鍍金板に就ては未だまだ書く事はあるが何れ後の時機に割愛して先へ進む。

此 30 番の次には 28 番が相當の顧客を持つて居るが 30 番に比すれば九牛に一毛である、然し使つては此の邊が役に立つものではあるまいか。

此度は増減率である。此の一種の際物で大震災があると暴利取締令で縛らなければならぬ程暴騰するし、九州に風が吹いた、伊豆に地震があつたとなると其日の内に 1 錢とか 5 錢とか飛び上る、今度は反對に緊縮の聲や不景氣の空氣が醸成されると尖端に立つて落潮を辿る、影の形に添ふ様である。

どうしてこんなに早く響くか、要するに之れは他鋼材と異つて貧弱な屋根だの塀に使はれる、換言すれば貧乏人の使ふトタン板の材料だからである。財布の紐の緩めるのも緊めるのも誠に手つ取り早い。

だから、今度の様な緊縮になると葺きかへる家根を先づ先づタールでも塗つて 1 年延ばそう。塀の張り換へもペンキで胡魔化そう、またこう借家が借り手が無くなつたのでは算露盤に合はないから、トタン葺きの郊外の文化住宅の建築も手控となる、古トタンを伸し直して使ふと云ふ風に忽ち緊縮が徹底するから減産しても減産しても値段は下る一方、遂に鍍金工場の没落となり、共販の成立となつてどうやら持ちこたへる状態である。

c 其他の鋼板

1) 鋳力 前述の通り輸入三大宗の一に位し、内地供給としては製鐵所か年額 1 萬 6、7、000 噸を生産するのみである、其他は全部輸入である、即ち約 80% は輸入に俟たなければならぬのである。

増加率も逐年順調で輸入状態もよく旬報で嘔ふ通りに規則的である。

頃日内地生産設備を増加する由であるが、ジートバイルと同様將來外註驅逐をしなければならぬ主要なものである。

話しは横道にそれるがよくよく考へると此鋳力板なるものは寧ろ製品の様には思はれる、なぜ鋼材としてあるか我々素人には一寸不思議の感がある、能く似て居るトタン板が鋼材の仲間外れになつて居るのに鋳力板は鋼材として取扱はれて居る、どうも一寸紛らしい。

2) 硅素鋼板 電氣事業の發達と共に當然需要の喚起を見るべきであるが、思ふ程は伸びないのはどう云ふ譯か。

これも製鐵所で 3,400—3,600 噸の生産があるだけで 1 萬噸位の輸入は年々缺かさない(年報参照)

これにも内地製品の進出の餘地を残されて居る。

其他ノ鋼板

寸法\區分	總供給數量			3ヶ年平均	3ヶ年平均増(減)率
	昭和2年	3年	4年		
鍍力板	75,753	88,503	99,448	87,903	14.59%
硅素鋼板	11,679	13,082	13,597	12,786	7.97
縞鋼板	5,285	10,174	7,739	7,733	31.29

3) 縞鋼板 建築と造船が盛になれば増す萎微すれば減ずる、之れも致し方あるまい。

近來の建築界、造船界の鳥瞰も此少量の縞板から出来る、昭和3年は鋼材の猫も杓子も景氣がよかつたから1萬噸以上の數字を出したが昭和4年には忽ち7,000噸臺に落ちて猶市況は不味である。これも未だ民間にて手を付けた處はなく製鐵所だけが昭和2年に7,000何噸から初つて昭和4年には漸く4,300噸漕ぎ付けたので他は輸入である。

1、2月積先物協議會—全部据置

陰慘の空氣に終始した昭和5年を送る1、2月積當所先物協議會は12月5日東京出張所に於て開かれた。

業界の不況深刻化すると共に、問屋の買氣地を拂ひ、従つて協議會に對する熱も極度に冷却し、參集する者寂寥々。

海外は殆んど全部若干の値上りを見たが、今日の市場に於ては些少の高低は何等の影響を及ぼさず、其の爲め希望値段としても、全部据置と云ふので直に希望通り決定、會議時間約1分と云ふ蓋し簡短な記録を残して散會した。

猶鍍力板は1ヶ月延期された。

1、2月積先物協議會

品種\區分	入電沖着	河岸着値段(爲替%)	希望	決定	備考
丸鋼ベース	5-7-6	72.88	65	65	全部据置
徑9mm	5-11-0	74.58	65	65	〃
中小型山形鋼	5-7-0	72.65	67	67	〃
大型山形鋼	5-5-0	71.69	70	70	〃
工形鋼	4-19-0	68.77	70	70	〃
溝形鋼(時サイズ)	6-0-0	78.94	70	70	〃
溝形鋼(耗サイズ)	5-1-0	69.74			
鋼板6mm以上	5-19-6	78.70	70	70	〃
23mm	6-4-0	86.24	82	82	〃
16mm	6-7-3	87.53	88	88	〃
鍍力板 100 lbs	0-18-4	9.76			
170 lbs	0-13-0	17.51			
鋼板 45mm	5-19-6	78.70			
32mm	6-2-0	79.91			
線材B.W.G.No.5	6-7-6	75.36			
黒薄鋼板	12-12-6	153.00			

輕便軌條賣價改正

11月29日恒例による6軌會を大阪平和俱樂部にて開催した。輸入は現在途絶の状態にあるも相場の氣配は相當安値の潜在せる模様につき一般賣値は7圓引下げ、結局下記の通り決定の上散會した。

- (イ) 數量 10 哩未満 河岸着 79 圓
- (ロ) " 10 哩以上 " 77 圓

昭和5年11月鋼材輸出高

大連、天津、青島、浦鹽等の手近の市場を征服した本所製品は今日は更に鵬翼を遠く新嘉坡に伸した。數量下の如し。

向先	11月	6月以降累計	向先	11月	6月以降累計
大連及牛莊	1,118	4,682	ヒリツピン	—	62
天津	177	625	香港	15	15
上海及漢口	9	1,129	新嘉坡	305	305
青島	23	220	合計	1,683	8,893
浦鹽	36	1,855			

12月及び1、2月積線材値段

12月9日製鐵所東京出張所に於て線材共販の建値及賣出數量の協議を爲し下記の通り決定した。

1. 値段

昭和6年1、2月積 75圓 据置

2. 賣出數量

	製鐵所	神戸製鋼	計
1月	4,000 噸	2,500 噸	6,500 噸
2月	3,500 "	2,500 "	6,000 "

猶12月積は去る10月23日下の通り決定

1. 値段

昭和5年12月積 75圓 1圓上ゲ

2. 賣出數量

製鐵所	神戸	計
3,500 噸	2,500 噸	6,000 噸

11月中三港輸入狀態—愈々1萬噸に近づく

1) 三港總計1萬1,000餘噸と云ふ新記録を現出した喜ばしい現象である。昭和5年も餘す處1ヶ月11月迄を前年同期と比較して本年は前年の約半數に近い、大凡30萬噸の輸入減となる模様である、詳しい事は來月に譲る。

2) 10月と比較すると合計で5,000噸減

條鋼類で前月の2,206噸が1,550噸となつて600餘噸減じた。

鋼板(07mm超)が500噸減。

鋼板(07mm以下)が1,100噸減。

流石の鍍力も2,000噸を減じた。

軌條は殆んど全減。(三港鋼材輸入數量表、後にある)

線材は1,500 吨減じて2,000 吨となつたが比反動輸入が來春早々に豫想されて居るので、極度に減少した此數字が猶更薄氣味悪い感を起させる。

シートパイルは此鋼材界の不況を知らぬ顔に11月迄にて2萬5,000 吨を突破して11月も2,300 吨の輸入記を見た。

鋼管も半減して800 餘吨。

斯く觀じ來ると鋼材の輸入も愈々寂滅したかに見えるが、常識的の判斷を許さぬ「輸入」は如何に變轉するか靜かに其移推を眺めよう。

3) 神戸、大阪兩港を合して大阪方面として之と横濱の東京方面と對比して見ると。

大阪方面は東京方面の丁度倍數の7,800 餘吨の輸入を見た譯である。條鋼類は總體から見て大阪方面の方が多し感じがする。

中、厚板は東西とも刀折れ矢盡きた形で、上半期の様な5,000 吨とか7,000 吨とか云ふ數字は今日ではどうしても實際あつたとは思へぬ程である。正に悪夢である。

薄板は東京方面は1 吨も輸入がなかつたが大阪方面では未だ未だ何處かに逃げ路があると見え700 吨近い輸入を見た。

東京方面で活躍して居るのは鉄力だけである。

線材も大阪方面が本場である、それと云ふのも東京方面は實需筋がやるだけで思惑屋が存在しない爲であらう。

4) 要するに水到つて渠成るで「輸入」も「時」が解決すると云ふものゝ、悠長許りが能でもあるまい、之れにも統制の手入が必要ではあるまいか。

**東西市況—閑散深刻** 東西共今迄の賣一方の方策に依り市場在庫としては著數く減少したが、買氣の消滅と、年の瀬が迫つた今日では各店とも賣買よりも暮を越す爲の資金の回收に氣を取られ、益々閑散となり大阪などは俳句まじりの市況を見る様になつた、東京方面も何れを向いても青息吐息で、相場も氣の付かない間に10 錢20 錢と下押し未だギリギリ貧状態を改めぬと云はれて居る。

只東京では薄板鋼材が地震や手當薄の爲聊か氣を持つて居る模様で、一つは黒鉄共販の效果の現はれとも云はれて居る。

#### 東京市況

**丸鋼** 何とか好調を續けた6mmも10 吨か20 吨の外注と僅少な伸鐵の注入に早くも崩れ足を現出する程弱腰となり9mmは底意は踏み留まりたい氣持ではあるが引きづられて10 錢翳み引き緩み、ペースは何と云ふこと

なく頭重の氣味である、太丸は理外の理も手傳つて軟弱と噂されて居る。

**角、平鋼** 角は「目下下落中」との事で19mm 38mmなども8圓などは夢のまた夢で、7圓も近いときへ傳へられて居る、平も同斷軟調を改めず。

**型鋼** 中型山形50mmは大部市場への注入も多くなつて軟調に轉じ、65 75また之に引きづられて鈍調と傳へられて居る。大型物はどうかと云ふ程度である、不等邊も3×4 3½×5を除いてはこれもどうか餘喘を保つて居る、溝形、工形は在庫漸減で溝の3×8など一寸見直し氣味ではあるが荷動きの無い爲め如何ともなし難く、低迷の域を脱せぬと傳へられて居る。

**鋼板** 1'6は品薄に珍らしくも稍反撥氣勢となり特に1'6×4×8はガツチリとして居るが、將して何時まで續くか已に危まれて居る程弱氣が瀰漫して居る、4'5以上は將に混沌たる状態を續けて歸着する處を知らぬと傳へられて居る。

#### 大阪市況

**丸鋼** 愚痴の合言葉、嘆息の交響樂のみがのさばり喜び、笑ひが屏息し、引込んで居る1930年型のいよいよ師走となつた。我丸鋼界もこうしたアトモスフィアの中に賣あせり氣味なるも見べき實需なく問屋筋も亦思ひ切つた買進みもせずといふ有様であるので、市況は依然凡調を辿るに過ぎない。

たゞいても牛に師走はなかりけり

**角、平鋼** 角鋼は定期的入荷に引弛み50mm以上は不動。平鋼は當所品の出廻り順調に下り脚頗る急にして賣行は著數鈍つた。

**型鋼** 山形鋼大型、中型共市場在庫豊富ならざるも周境の不良を移してジリ安商状を繰返し、工形鋼は重量の關係上最近建築方面の需要は斷然減少したる模様にて従つて相場も妙味に乏しいと云はれて居る。溝形鋼は當所品出廻り順調ならざる爲め市場在庫薄を告げ乍らも前者と軌を1にして不牙。

**鋼板** 薄板の需要は幾分見直したやうであるが安値には賣らず又戻つた所は買はないといふ有様で目先の安値を氣構へて見送りの態度を持してゐる。1'6×4×8は稍品薄なれども賣行は不振を極め、厚板は全く底抜け状態と云はれて居る。

**線材** 當所及び神戸製鋼所の積出少々順調に趣きつゝありかたがた外註品入荷も弗々ある爲め相場は漸落歩調を辿つて居る。

**鉄力板** 既報の如くスクラップの輸入は相も變らず相當あるやうであるが、入電は本國小耽りを報じ、且つ當

所定期もの、底値発表は幾分市場に好感を興へた模様で  
 今後は専ら需給関係に移るであらうと見られ今のところ  
 各需要家とも大體當用買方針を出でないから實需も緩慢  
 に繼續してゐる。よつて本當に需給関係が相場を動かす  
 のは年をかへてのこと、見る筋がある。

販賣旬報 第149號 昭和5年12月20日

製鐵所販賣部

### 過去3ヶ年の鋼材供給状態(其6完)

#### 5. 雜

雜と云ふ名は變かも知れぬが、今迄書いたもの、何れ  
 にも含ませることの出来ぬ軌條、線材、鋼管の3つを掲  
 記することにした。其内で軌條は元來型钢の部に加ふべ  
 き性質のものかも知れぬが今迄の取扱の慣習上獨立させ  
 てあるので、これに従つて此部に入れて書く。

a) 軌條 枕木の上にレールが乗つて其の上を汽  
 車や、電車が走る。今此現實を見て居れば誠に平凡で當  
 然過ぎる程當然の事實にしか考へられないが、あの飛行  
 機が初めて青空を飛んだ時驚異の眼を睜つた様に、此レ  
 ールなるものが創造されて汽車が初めて走つた當時は恐  
 らく人氣の焦點になつた程不思議のものであつたらうと  
 想像される。どんな過程で今日のレールなるものが、完  
 成されたか、「鐵と鋼」第十二年第六號に掲載されてある、  
 當所永田鋼板部長の「重軌條及び大型鋼の製造に就て」  
 と云ふ講演中の「軌條製造の沿革」を拜見するとよく其  
 變遷が分るので参考の爲下に其概要を抄録する。

『軌條製造の沿革 軌道とか鐵道とか云ふものに用ゐる  
 軌條は最初は木材であつたのが次に鑄鐵となりそれから  
 煉鐵となり最後に鋼鐵となつて今日に至りました、  
 抑々軌道と稱すべきもの、初めは汽車が實用に供せら  
 るゝ様になつた以前既に200年前即ち630年頃に英國  
 の或炭坑で石炭を運び出すのに勞力を省く爲木材を布  
 設して1炭車の道を作つた。尤も2條の木を土に埋め  
 て地の表面とに高低なきものであつた。其上を車が走  
 つて摩擦を餘程減じ得ました、次には角材を枕木の上  
 に取付けたものが出来ました、此如くする事150年間  
 にして別段の進歩も無かつたのであります。1767年頃  
 鑄鐵の板を木材の軌條の表面に取付けて軌條の使用期  
 間を永く保たしむる事が考へられました、之を Coal  
 brookdale-Rail と稱して矢張り炭坑で用ひられ馬に  
 炭車を引かせて此の軌條の上を走らせたのでありまし  
 て今日の鐵道の基をなす程の發明であります、此鑄鐵  
 製の plate Rail が其後煉鐵が使用せらるゝ様になつて  
 からは Strap Rail と稱して約100年間も用ゐられま  
 した、鑄鐵製軌條は其後形狀に於て種々變化がありま

して凸縁を付けて山形鋼の如くしたものの又は斷面が T  
 形をなしたものの等が有りました。

1808年—1810年頃に煉鐵製の四角形若しくは平鋼狀の  
 Strap Rail といふものが出来ました此時代にはまだ  
 Rolling mill は今日の如く進歩致さず Strap の如き  
 簡單なる形のものしか出来なかつたのであります、  
 1820年に T 形のもので出来ました、軌條の接續箇所  
 を少くする爲めに1本の長さを18呎にして兩端繼目  
 の處には枕を置き更に石材の土臺を置いて支へた、之  
 れ Birkenhead Rail と稱します。

1825年 Stevenson 氏が汽車を實用に供し英國の St-  
 ookton と Darlington の間に最初の鐵道が布設せら  
 れた時用ひた軌條は多分此如き軌條であつたてせう  
 1830年に Clarence Rail を用ひました。1831年に米  
 國の Stevenson 氏が重に英國に於て製造しました軌條  
 が今日の形の元祖であると云へます、1841年には U 形  
 軌條が現はれました。米國に於て作つた最初の軌條は  
 此形であります、之に續いて頭部の非常に大きな Pear  
 head Rail が出来ました之れは1845年以後約20年  
 間米國で廣く用ゐられました。此頃に於ては鐵道の發  
 達と共に軌條の製造も發達して、1841年に I 形の 41  
 LB 軌條が作られ、1858年には頭部と底部との間に繼  
 目板を嵌め込め得る餘地を作つた軌條が製造され漸次  
 現在の形狀に近づいて來ました、米國では最近 138 L  
 B の軌條を用ゐた處もあるといふ事であります。

1857年には英國にて最初の轉爐鋼軌條 (Bessemer  
 Steel Rail) が出来て1867年には米國にても轉爐鋼  
 軌條が出来ました、歐洲に於て鋼製軌條を用ゐたもの  
 は1859年オーストリーに於てウイナとクラカウ間の  
 鐵道に布設したのが初めてあります。英國にては  
 1861年佛國にては1867年に鋼製軌條を布設しまし  
 た。實際使用上に於て鋼製軌條は煉鐵製に比べ耐久力  
 其他の點で優れて居りましたので各國共競ふて之を使  
 用する事になりました。而して年を遂ふて増加する車  
 輛の重量と通過噸數と速力等の關係より軌條の重量及  
 び形狀に變化を來し追々と大きくなりました、而して  
 各國共に標準の軌條を規定するやうになりました。

我國にて重軌條を作つて居る處は製鐵所だけであるか  
 ら製鐵所の沿革は即ち日本の沿革となるわけに製鐵所  
 では明治34年11月即ち製鐵所の壓延作業開始の初  
 めに當つて軌條工場の仕事を初めまして最初に A S  
 C E 型の 60 LB 軌條を作りましたが當時職工の不熟  
 練と設備の不完全によつて充分のものが出来なくて

其年僅かに1,086 吨の生産高に過ぎず、明治38年には75 LB 軌條を作り始め39年には軌條の生産高27,500 吨位に達しました、明治44年に80 LB 軌條を作り、大正4年4月にA、R、A-A型の100 LB 軌條を作り出しました、是は滿鐵の註文によつて製造しました、又大正13年10月に東京、横濱、大阪及び大連の市街電鐵用として91 LB のHigh-Tee Rail を作つて供給しました、製鐵所では大正8年5月以降平爐鋼を以て軌條を作り出しまして現今では轉爐鋼平爐鋼と何れを以ても製造出来るのであります。』

扱て本論に立歸つて、最近の日本の實情を知る爲先づ次の表に目を移して見る。

寸法\區分	總供給數量			3ヶ年平均	3ヶ年平均増(減)率
	昭和2年	3年	4年		
	<u>重 軌 條</u>				
22 <sup>K</sup>	11,609	9,029	7,847	8,495	(8.96)%
30	76,103	63,566	64,064	69,578	(8.24)
37	85,147	66,238	97,675	83,020	12.63
50	42,510	57,033	83,972	61,188	40.70
其 他	8,859	9,308	6,331	8,166	13.46
計	224,228	207,224	259,889	230,447	8.92
	<u>輕 軌 條</u>				
6 <sup>K</sup>	16,312	15,009	15,787	15,702	(1.41)%
9	11,109	13,520	10,926	11,852	1.25
12	7,294	8,656	9,658	8,536	15.13
計	34,715	37,185	36,371	36,090	2.47

數量としては重軌條、輕軌條合せて大凡25萬吨から30萬吨の間を動いて居る。3箇年の供給數量の平均から見ると約27萬吨である。

寸法別も全部「吨」にしたが、今迄使ひ馳れた「封度」とするには之を倍数にすればよい、即ち9吨は18封度37吨は75封度である、また此「吨」はPer Meter「封度」はPer Yardの重量たることはお断りする迄もない。

**重軌條** 重軌條と輕軌條も22吨を中心として2派に分れる。米國では22吨は輕軌條に入れ、大陸では之を重軌條に繰り入れる習慣である、當所は22吨は大型工場で作して居るので、大陸式の區分に從つて、此處では重軌條に入れることにした。先づ寸法別の用途を列記して見ると

- 22 吨 主として樺太、朝鮮の社線用
- 30 吨 鐵道省の交通頻繁ならざる支線。臺灣交通局其他電鐵會社用
- 37 吨 鐵道省。朝鮮鐵道局及電鐵會社用

50 吨 鐵道省幹線(東海道、山陽線)殖民地としては朝鮮及滿洲

然して其趨向に就て見る時は漸次重きものに推移する様子が別表より觀取される。即ち22吨、30吨が減少の傾向にあるに反し、37吨及50吨は著敷く増加の趨勢を辿つて居るのである。

又50吨は其使用先たる前述の鐵道省幹線の架設換へが未だ漸く半に達せざるに關らず、此不況の爲め建設も思ふ様に進轉せず、其上殖民地も不況の打撃深刻なる爲め將來に於ては今日の如き増加率を以て進むや否や甚だ疑問とする處である、然るに37吨は此50吨の影響もありて相當消費力があるのではあるまいかと觀察されて居る。然し此傾向は經濟界の立直りにより當然再び重き軌條に移り行くであらうと云はれて居る此37吨は用途に就ては可成り古い歴史を持ち重軌條の中樞を成して居る觀がある。

軌條の中でも特に此重軌條は近時輸入の徹底的防遏に奏效し、殆んど自給自足の域に到達した事は特筆に値することである、現今の輸入は市電用特殊軌條に限られて居ると云ふても過言ではない。(年報参照)

**輕軌條** 此は6吨、9吨、12吨の3種に整理して觀察する、供給の數量は近時3箇年間殆んど變らず、35,000 吨を中心にして上下して居る増減率も殆んど變りなく、各寸法も他鋼材に比して増減の跡が甚だ僅少である。

此内6吨及9吨は主として土木用として使用せられ營林署などは大なる消費者である。12吨は主として輕便鐵道用で此寸法のものが他に比し比較的鮮かな進出振りを示して居るが將來自動車網の完成に連れ消費力を減退するのはあるまいかと心配されて居る。

12吨の内地生産は製鐵所に限られて居るが6吨9吨は民間でも若干の生産をなして居る、此も重軌條と同様輸入は漸次統制せられて逐年減少の現象を呈して居る。

b) **線材** 惑星線材は如何に動いて居るか。線材其製品たる釘及線を除いて論ずることは出來ぬが此處では主として單に線材としての趨勢を見ることにする。

線材の内地生産は諸種の事情の爲め其全能力を發揮することを得ず、生産數量誠に僅少であつて、需要の主力を輸入に仰いで居たので、黑板、鋳力と共に鋼材界思惑品の代表として盛に活躍し、釘及線の浮沈と相俟つて供給状態に常なく、且の好調は夕を頼み難く、今日の悲境も明日は笑顔に變る様な有様を繰り返して遺憾なく其の惑星振りを發揮して居た。下表大正9年以來の線材の總供給概數を見ると其間の事情が讀めるであらう。

大正 9	76,000	大正 14	100,000
" 10	4,800	昭和 1	153,000
" 11	82,000	" 2	164,000
" 12	9,300	" 3	230,000
" 13	120,000	" 4	225,000

然し線材だけでは正確でない、之に釘及線の輸入を加へなければ線材界の實情を窺ふことは出来ぬ、それで大正9年以降の線材と釘及線の輸入合計概数を調べると次表の様になつて、其供給數量はやはり他鋼材に比して年毎に大なる高低を描きつゝ進轉して居る有様を知ることが出来よう。

大正 9	125,000	大正 14	123,000
" 10	90,000	昭和 1	189,000
" 11	165,000	" 2	175,000
" 12	145,000	" 3	238,000
" 13	195,000	" 4	237,000

序に此釘と線との輸入状態を知る爲其概数を示すと。

釘		線	
大正 9	23,000	26,000	" 14 600 22,000
" 10	17,000	25,000	昭和 1 800 35,000
" 11	32,000	51,000	" 2 500 11,000
" 12	22,000	30,000	" 3 1,000 700
" 13	37,000	38,000	" 4 1,000 11,000

となつて釘は大震災を轉機として殆んど自給自足の域に達し、線のみは傾向としては漸減であるが細番線の内地生産が困難な事などが主要な原因となつて未だ相當數量の輸入の跡を絶たない。

元來線材は東西に於て甚だしく其趣きを異にして居る東京方面では線、釘製造工場が尠い關係上市中に浮動する線材は殆んどなく、實需家筋の手に收められて居る爲所謂成行相場なるものもあり明確でないのに反し大阪方面は數多の線釘製造工場を擁して居る上に釘の値が一寸出ると家庭工業式の小製釘工場が簇出する様な事情があるので線材の消費力も強く市中間屋にも線材専門のものもある程である。従つて所謂線材相場なるものは何時も大阪方面に牽引されると云ふても過言ではあるまい。

東西の趨勢を眺める爲め昭和2年以降の當所調査に係る神戸、大阪、横濱三港の線材輸入統計で、神戸、大阪、兩港を合したものを大阪方面とし、横濱を東京方面として見ると。

	大阪 (百分率)	横濱 (百分率)
昭和 2 年	82,524 (82)	17,791 (18)
3 年	125,593 (78)	36,112 (22)
4 年	111,502 (78)	31,595 (22)
3ヶ年平均	106,540 (79)	28,499 (21)

と云ふ様に大阪方面は東京に比して殆んど4倍の輸入をなして居るのである、以て其消費力の大勢を知ることが出来よう。

處が果然石は投ぜられた、昭和4年下期以降鋼材界未曾有の不況は減産に亞ぐに減産を以てして遂に今迄其製

造を顧られなかつた我線材迄手を伸ばすの已むを得ざる状態に立到つたのである。

それが爲め昭和2年以降最少 55,000 吨より最大 68,000 吨の實産しかなかつた内地生産は近々 15 萬吨近くの實産をなす様になつた(年報参照)、そこへ持つて來て不況の深刻となるに従つて消費力の衰微を助長して殆んど輸入の間隙を餘さない様になり、黑板の輸入寂滅に亞て線材も愈々其鋭鋒を收めなければならぬ有様となつて、此處に初めて線材界の安全を期し得る様になつたのである。

特に明春1月には當所及神戸製鋼所の間に共販組合の成立も豫期されて居るので益々安定の域に進むものと考へられる。

線材

寸法	昭和2年	" 3年	" 4年	3ヶ年平均	3ヶ年平均増(減)率
5.5mm	145,352	213,141	201,572	186,688	20.61%
6	5,729	1,676	7,301	4,902	142.44
其他	12,436	14,245	16,391	14,358	14.81
計	163,617	229,062	225,264	205,948	19.21

以上の表の説明すると 5.5mm の中には當所生産の製釘材の下記が含有されて居る。

	昭和2年	" 3年	" 4年	3ヶ年平均
製釘材	29,041	32,004	40,532	33,859

總供給數量の平均から考案すると近年の消費力は概れ 20 萬吨と云ふ事が出来よう。然し昭和5年の如きはこれから何程減ずるか、大に考究を要する問題と思ふ。それで 5.5mm は黑板に於ける 30 番と同様、線材と云へば殆んど 5.5mm と思はれる程の勢力を保持して居る即ち 90% 以上を占めて居るのである。

「其他」の 14,000 吨は一寸多い感じがするがこれは 7mm から 12mm までの間で 8mm と 9mm が最大限 2,000 吨の間で動いて居る外は定期的が多いと云ふものがないので捨てたのである。

又 6mm は 5.5mm の様に平調を辿らず年により非常なる起伏の線を畫いて居る。

増減率 6mm が異状に多い様に見えるがそれは昭和5年の極端な供給減が原因して居る爲である、總計の増減率も鋼材全般の 11% と云ふ係數に比すれば多い方である。要するに線材の今後の支那及其附近に於ける釘及線の消長も大なる關係は持つが漸次自給自足の境地に進むと共に今迄の様な浮沈常なき態度を改めて、比較的平靜な状態に移るであらうと見られて居る。

c) 鋼管 『瓦斯、水道、電燈、鐵道の如き事業が文明人類の生活に向つて其必要缺く可からざる事敢て言を

俟たず而して電氣の傳達に電線を要し貨車の來往に鐵道を要するを知るものは瓦斯體液體の配給に鋼管を要する事も亦之を知了すべし若し世界鋼管の製産今日の隆盛を來さざるに於ては瓦斯及水道事業今日の發達は到底之を想像する事能はざるべし。其他製鐵、製油、機械造船は勿論一般の建築土木に於ても鋼管の需要頗る大なるものあり、之を以て輒近歐米諸國に於ける鋼管の製造事業は頗る隆盛にして其産出額は各種鐵鋼製造品の内に在る最も主要なる位置を占るに至れり、米國の如きはナショナル製管會社のみにても1箇年優に100萬噸以上の鋼管を製出し獨逸に於てはマンネスマン、ドイテール、カイゼル、フェニックス、ジュツセルドルフ、レーレンワルツウエルクハーン、フルダンスキー、ラウラ、ピスマルクの如き著名なる鋼管工場ありて、各其隆大を競ひ又英國に於ては彼の有名なるスチエワード、ロイド、ウキルソン、ユニオンの如き大會社あり瑞典の如きも猶フアーゲルスター、サンドウイーケン等あり而して塊國に至りては彼巨大なるウイトコウキツツ鋼管工場を有し製鐵事業の最も幼稚なる露國すら今回ペートルスブルク近郊コルビノに於て一大鋼管工場を創設するに至れり、然るに本邦の如きは既に久しく相當多量の鋼管を需用し來れるに拘らず此種製造工場なきを以て全部の需用を輸入に仰ぐの外なく現に昨44年の如きは無慮400萬圓の輸入を見るに至れり、蓋し本邦に於ても瓦斯、水道の如き文明設備を始め機械其他の製造工業亦著しく達せる當然の結果として此の如き需用増進を來せるものなるべし、試に瓦斯の一事業に就て之を見るも目下既設及計畫中のものを合して80餘會社を算し而して此等諸會社は其事業の擴張と共に年々其瓦斯供給の支線延長を實行し殆んど底止する處なきを想像せるは亦以て將來に於ける需要増進の程度を察知するに難からざるべし。

需要の盛なること此の如くなるに拘はらず、本邦に於て今日尙ほ未だ1の鋼管製造所なきは畢竟製鋼事業に關する一般知識の幼稚なるに基くものなるべし、と雖も是れ實に我工業界に於ける一大缺陷と云はざるべからず、此の如きは苟くも世の産業を論ずるもの、徒らに看過する能はざる所にして、今や事業創立の好機實に到來せるものと云ふべし、予輩聊か是に見る處あり數年間調査を重ね尙最近歐洲各國に於ける鋼管技術の實況に就き緻密の研究を遂げ營利事業として充分、成效の基礎あるものと認めたるを以て茲に1箇年約1萬噸の鋼管を製造するに足る可き一製造所を創立し同時に原料たる鋼塊をも製造し以て事業の根底を固めんと欲す。而して鋼管の製造は當初先づ1萬噸の程度に於て豫定の成績を擧げたる後

漸次機宜に應じたる擴張を遂げ1は以て關係諸事業の發達に資し1は輸入防遏の功を奏し之に依て此本邦工業の一大缺陷を補足せんとす。是れ亦報國の1事業たるを失はざるを信ず。今下に過去5年間我國に輸入せられたる鋼管の數量及價格を列擧して参考に資す。

年次	數量	價格
39年	10,240 噸	1,547,198 圓
40年	20,256 "	2,972,307 "
41年	15,229 "	2,437,498 "
42年	18,551 "	2,305,630 "
43年	26,040 "	3,097,626 "
5年箇總計	90,316 "	12,360,259 "
5箇年平均	18,063 "	2,472,052 "

但表中の價格は輸入税、金利、陸上費等を含まざるものなり又汽鐵、船舶、其他既製品の一部として輸入せられたる鋼管類は凡て之を含まず。

尙ほ其後に於ける鋼鐵管の需要益々増加し現に昨44年度の如き1月より11月迄の累計337萬3,716圓に達し、一昨年度の同累計に比し100萬圓以上の増加を示せり、されば此種鋼材は實に本邦輸入品中に於て侮る可からざる位置に達したるものと云ふ可し。』

これは明治45年に日本鋼管株式會社が創立された時の趣意書である。

今より正に20年前の日本鋼管界が手に取る様に分るではないか。25年前に僅々1萬餘噸の消費力しか持たなかつた日本も昭和4年には139,318噸と云ふ、14倍の數量を消化し得る様になつた。また當時1噸の内地生産もなかつたのに昭和4年では76,269噸と云ふ供給をなすに到つた。

鋼管なるものは當所に其生産なく民間製管業者と輸入により其需要を充して居る、鋼管の發達の道程から云ふと繼目鋼管が最初に製造されて、次で繼目無しの引抜鋼管に移つたものである、繼目鋼管はラップ、ウエルドにしるバット、ウエルドにしる工程が簡單で従つて生産費が安くつが、耐久力の點や抗壓力から云ふて繼目無鋼管に到底及ばない缺點があつたのである。是等の利害得失が製作上の難易に加味されて繼目無鋼管は大凡そ1'—12'ラップ、ウエルドが12'超、バット、ウエルドが2'以下と云ふ様な分野を作つた、また此繼目鋼管も一時は繼目無鋼管の有利な點に押され氣味であつたのが、近來瓦斯熔接から進化して電氣熔接に移るに従ひ、優良なる製品を生む様になり、其外日本では特に經濟上の事情も手傳つて再び繼目鋼管の進出を見る様になつた即ち兩者の内地生産の最近の成績を眺めると。

	昭和2年	"3年	"4年
繼目無	47,777	56,188	43,867



繼 目 10,976 32,402

と云ふ様に特に繼目鋼管が増産される様になつた。

これが當然其原料たるスケルブと因果關係を持ち、帶鐵の輸入も漸増して來たので當所に於ても近來此製造に着手したのである。

之を用途別から見ると概念としては瓦斯管と特殊管に分けられ、瓦斯管は主として水道、瓦斯、鑛山、造船、建築等に使用されるものを云ひ、特殊管は油井管、焰管、ボイラー・チューブなどである。猶此間にあつて隠然たる勢力を持つて居るのは保護管として使用されるコンヂット・チューブである。

之等の鋼管に交錯して居るのに鑄鐵管がある、種々の得失が論議されて中々に歸着する處を知らない様であるが、事實としては漸次鋼管に壓迫されつゝある情況で、其證據には鑄管工場でも近來セミステールパイプなる新製品に着手し出した事によつて分る。

鋼 管

總供給數量

昭和2年	3年	4年	3ヶ年平均	3ヶ年平均増(減)率 %
99,780	121,023	139,318	130,040	18.21

此處に掲げた數字に加はつて居らないのは三菱造船等て造つて居る、300mm-1,500mm 位の水道鋼管である、最近同社神戸造船所で配水管、送水管等として受注したのも、1,258 噸になつて居る。

將來に就ては利害を綜合して見て此電氣熔接の鋼管が漸次有力なるものとなるであると云はれて居る。

寸法別の詳細に就ては鋼材年報第5表其1、其2、第8表其1、其2を参照されたい。

「鋼材の供給状態」も未だ「外輪車軸」等色々細かいものを残して居るが、主要なものを一通り書いたので先づ擱筆する。

**12月積黑板申込狀況** 11月20日午後3時大阪電氣俱樂部に通例の如く12月積締切理事會を開催したが申込意外に多く賣出總數 9,000 噸に對し申込 8,625 噸あり就中製鐵もの、如き賣出噸數 1,270 噸に對し 1,600 噸の申込を得て、組合創立以來の記録を作つた。

内地向

製川 中德 日合	鐵 崎 山 山 鋼 計	賣出 噸數	申 込 噸 數		
			東京	大阪	合計
		1,270	1,400	200	1,600
		6,030	2,325	3,445	5,770
		1,080	200	880	1,080
		450	—	50	50
		170	—	125	125
		9,000	3,926	4,700	8,625

輸 出 向

製川 中德 日合	鐵 崎 山 山 鋼 計	賣出噸數	申込噸數
		430 噸	370 噸
		2,010 "	995 "
		360 "	360 "
		150 "	—
		50 "	50 "
		3,000 "	1,775 "

1月積黑板理事會

1 噸 268 枚 13 枚物黑板と云へばあゝあの亞鉛鐵板の原板かたまあ通り相場と決つて居た處、最近突如獨逸物と稱し1 噸 280 枚、云はゞ31番か31番半とても云ふべき珍品が現れると云ふ噂を生んで先月も外註、11-7-6の換算148圓と云ふ希望値段すら出たのであつたが不幸それが枯尾花に終らず皮肉にも多難であつた本年の有終の美として大阪市場に愈々現れ出で、冬枯の上に弱氣を生み一脈の關東市況強氣を壓して一氣5圓下げと云ふ理事會への希望。

徹底した外註防遏策としては、外註誘發の危険を防止した上更に輸入された現品に對抗し得る値段を出すのが眞實とあつて遂に下の決議を見る事となつた。

- 1. 内地向値段 268 枚建1 噸  
川 崎 金 150 圓也  
製 鐵 所 } 金 148 圓 50 錢  
其 他
- 1. 輸出向値段  
川 崎 金 116 圓 50 錢也  
製 鐵 所 } 金 115 圓也  
其 他
- 1. 賣出數量  
内地向 9,000 噸也  
輸出向 3,000 噸也

クレオソート油と石炭酸

1) クレオソート油輸出向近況今夏以來米國購買力の減退と各月生産過剩によつて多少の荷兎を來し時に在庫貯藏問題を生まんとした當所クレオソート油も兎に角大口契約者の努力によつて引續き輸出向は相當の成績を擧げ本月下旬入港豫定のウェルス丸約 840 噸積で本年最後の積出しを了へる事となつた。

新春からは更に1回積 3,000 噸前後のタンク船大口輸送の商談を進められて居るから近く本品輸出向の1エホックを來すであらふ。

7月中旬ウェルス丸積迄の輸出内譯は既報したが本年4月以降の全輸出量は下の如く既に9,166 噸餘に達して居るから結局本年中には優に10,000 噸を突破する事となる。

積込時間	船 名	數 量
4月中旬	曉 光 丸	839,938 噸
5月下旬	ウ エ ル ス 丸	866,253 "

5 月上旬	玖馬丸	1,282,035 吨
6 月下旬	モントリール丸	886,055 "
7 月中旬	ウエルス丸	875,390 "
7 月下旬	ヴェニス丸	877,816 "
8 月下旬	ウエルス丸	881,497 "
10 月中旬	ベルファスト丸	874,779 "
11 月上旬	玖馬丸	903,069 "
12 月上旬	モントリール丸	879,458 "
計		9,166,799 "
※ 12 月下旬	ウエルス丸	840,000 "
總計		10,006,799 "

(備考) 12 月下旬積算受渡實数は多少増加すべし。

2) 石炭酸暫定的見積見合せ 従来引續き各月 1 箇月先物渡見積合せによつて契約し市場輸入品に對抗して特殊の地位を築きつゝあつた當所生産の石炭酸は今回タール工場製造場諸装置修理のために明年 1 月及 2 月は生産を中止する事になつたので従つて本月及來月に限つて特に見積發表を見合せ事となつた。

鐵材減産に伴つて副製品中には必然的に多少減少するものもあるがそれは本件とは全然關係はない。

本年 4 月以降の本品契約高下の如し

契約時期	受渡期限	契約數量
4 月中旬	5 月 末	5,508 吨
5 月 "	6 月 "	6,228 "
6 月 "	7 月 "	7,020 "
7 月 "	8 月 "	6,840 "
8 月 "	9 月 "	7,668 "
9 月 "	10 月 "	5,148 "
10 月 下旬	11 月 "	8,784 "
11 月 中旬	12 月 "	11,484 "
合計		58,680 "

### 10、11 月中大陸市況

例年の例からすれば活潑なるべき 10 月も、古今 未曾有の不況には期節的效能も望まれず、内外共に需要更に萎縮して市場は軟化の一路を辿り棒鋼の如き遂に 4 磅臺割をとなへてメイカーは愈々苦境の淵に陥つた。

ルクセンブルク 鐵鋼業者聯合會の報告は、彼等の現状を端的に告白してゐる。

「市況は尙最悪を續け、工場は彼等の抱く職工を維持する爲に値段にかまはず注文獲得に焦慮して重い損失を更れてゐる。我等の選ぶべき道は職工を整理、減給して不況を凌ぐか或は如何なる値段にも甘じて注文の争奪に邁進するかである。我等と同様の事情に呻吟してゐる隣邦白耳義は 12 月 1 日より 2 分 5 厘、更に來年 1 月 1 日より 2 分 5 厘の賃銀値下げに成功した」と。

要するに秋の好シーズンを迎えて需要の擡頭を望み得なかつた上に各國メイカーの競争のみ徒に激しく、相場は一段と下押したといふのが永い間期待をかけてゐた 10 月の大陸市況であつた。現在の市場を幾分でも好轉せし

むるにはより以上の徹底的減産が必要なのであらう。

最近數ヶ月の大陸諸國の鋼塊生産額は左の通りである。

	獨逸	クルセン ブルグ	佛蘭西	白耳義
5 月	1,029,614	188,976	855,000	292,811
6 月	859,130	149,962	753,000	247,091
7 月	906,195	166,014	789,000	263,957
8 月	896,371	177,000	775,000	237,150
9 月	813,879	186,448	767,000	246,110
10 月	856,433	195,472		243,850

上表に依つて知らるゝ如く 5 月を劃期として生産量は顯著なる減少の足跡を綴つて、諸國の苦闘を物語つてはゐるが、此を以つても尙足らざる現情を體驗した彼等は更に第 2 次減産の止むなきを悟り、主として獨逸の主張に基き、屢々協議を更れた結果過日報道したリージュ案 (2 割 5 分減) となつたのであるが、獨り殷盛を誇つてゐる佛蘭西の反對に會ひ一時暗の中に葬り去られたことも 9、10 月中大陸市況に報道した所である。然るに其後大陸よりの電信に依れば 10 月 17 日開催せられた巴里會議に於て、代償として佛蘭西の附帯條件を認告し、とも角も減産を實行することに意見一致、12 月 23 日非公式に該案を承諾する旨の發表があつたとのことである。

其の内容は大體下の通りである。

- (1) 11、12 兩月に於ける各國の割當は 1929 年 10 月に於ける各國實産高の 2 割 5 分減とすること。
- (2) 超過産數に對する 4 弗の罰金は佛蘭西の希望を容れて内地向は産當り 1 弗輸出向 4 弗とすること。
- (3) 佛蘭西の内地市場を保護する爲各國 (獨、白、ルク) よりする輸入量に一定の限度を設くること。

此に依つて得るであらう各國の月額割當は下の如し。

佛國	635,250 吨
獨逸	1,032,750
白耳義	268,125
ルクセンブルグ	183,500
ザール	149,250

以上の内獨、ルク、白は何れも現在生産高が以上の割當以内にある爲左して重要性を持たぬが、佛蘭西の如きは 7 月實産高、789,000 吨にして新割當量に對し 153,750 吨の超過生産であるから、此の度の減産は佛蘭西にとつて最も重大であると共に大陸の生産そのものにも相當効果のあるものと考へられる。

時も時、棒鋼 3-18-6 の新安値に驚かされた 11 月初旬より市場漸く底をついたが買氣やゝ動いて外國よりの引合も増加し、13 日の立會には棒鋼 4-2-9 と久し振りに躍進振りを見せたが下旬には更に 4-5-0 と硬化し、

商内も相當まとまり白耳義メーカーの大部分は、1月中旬まで充分の注文をかゝへておるとのことである、獨り棒鋼のみならず、山形、鋼板も同一步調を辿り鋼板は4-12-3の底より4志方引返し4-16-0、山形の如き3-14-3より4-2-6の躍進振りである。

工形は依然佛蘭西の競争猛烈にして他のもの、高騰に比較しては見劣りもするが、とも角も市場の大勢に順應して4志方引返しの3-14-6に落ち付いた、一方半製品も英國、再壓延業者の注文増加にににかにぎはいを見せピレット2時は上旬3-5-6より3-12-6にシートバーは3-8-3より3-15-6と一勢に高騰し、白耳義工場は2月一杯能力を充しておるとのことである、將して此の相場が何時迄続くか、餘りの急激のことゝて市場も一般にはかりかれ、或は數の原因を問屋筋の買理とも云ひ或はメーカーの煽とも云つてゐるが、年末を控へてのことでもあるから此れ以上の沸騰的相場は望めず此の儘越年するであらうと見る向が多いとのことである。  
ブラッセル取引所相場下の如し。

	棒鋼	工形 (N.P)	工形 (B.S)	大型山形	鋼板 (3/16")	ピレット (2")	シートバー
10月 15日	4-1-9	3-14-6	3-16-6	3-17-0	4-15-3	3-8-0	3-11-3
22日	4-0-6	3-14-0	3-15-6	3-16-0	4-14-0	3-7-9	3-10-0
29日	3-18-9	3-12-9	3-14-3	3-14-6	4-12-9	3-6-6	3-8-9
11月 6日	3-18-6	3-11-3	3-13-3	3-14-3	4-12-9	3-5-6	3-8-3
13日	3-19-0	3-10-3	3-12-9	3-15-0	4-12-3	3-6-0	3-9-3
20日	4-2-9	3-12-6	3-14-0	3-18-0	4-15-0	3-9-0	3-11-0
27日	4-5-0	3-14-6	3-16-0	4-2-6	4-16-0	3-12-6	3-15-6

東西市況—灰色

愈々本年最後の市況を書くことになつた、よくも一年間斯くまで陰慘に終始した事と誠に悲壯の感に打たれる。

去年は悪いと云ふてもバーベス102圓から初まつて84圓を惨落と嘔つて暮れた、然るに今年はどうだらう、1月の84圓から12月は65圓まで崩落し、

然も其65圓は全く買手のないノミナルなもので實際は關東共販が57圓の壘を死守して居る有様である。

即ち昭和4年は18圓の値下りであるが、本年は57圓を基準とすれば正に27圓の惨落である。僅か2年の間に随當り45圓も値下りを喰つてはメーカーも問屋も死物狂ひなのも決して無理はあるまい。

今旬は要するに前旬の延長で何等の變化もなく、丸鋼の頭重と厚板の混亂状態は益々市場を灰色にして意氣銷沈の裡に今年を送る模様と云はれて居る。

東京市況

丸鋼 目に見えぬ様な力が働いて、目に見えぬ様に力が弱つて行くのがベス丸である。共販は頑として死

守を續け何等不安を感じる理由はないが、兎に角萬事「賣れない」と云ふ事實が斯くする主要なる原因と睨まれて居る、6mmも同斷12mmは品掠れに近い様な状態ながら何等の反響もない。要するに鋼材界の主力が無氣力である。

角、平鋼 角も一頃の様に急落の現象はないだけで一歩一歩落ち込んで何處で落付くとも見當付かず19mmは已に7圓の臺を割り38mmは漸く大臺に踏み留つて居る、平も軟調不變。

型鋼 中小型山形は流言蜚語を織り交ぜて波瀾含みとなり臺割れさへ傳へられて居る、大型も賣行不振に軟調、不等邊も減入る一方にて弗々と臺變り物が現はれる様になつたと傳へられて居る。溝形は工形に比しては稍動く模様と云はれて居るが2½×5を除いては活氣なく工形も軟弱を改めずと見られて居る。

鋼板 16は現在高で特に4×8は相當高値稱へてあるが近日入荷物は賣り急いで値を崩して居ると傳へられて居る。23は3×6、4×8、8圓15錢位を云はれ32

盆槍、45以上は混亂状態。

大阪市況

丸鋼 總ての點に於て例年と事情を異にせる歳末に際せる一般人氣は

只管警戒の念が強いだけ頃來の市況は一昂一低とも鋭敏に繰返さるゝ模様にて細丸並寸法ものは60圓臺割れを現出したと傳へられて居る。中丸以上のものは市場在庫薄なれ共年末接近と共に各手持筋は冷靜の態度を採つてゐるから自然場面は活氣薄のまゝ推移しつつあるが先づ殆んど無風状態の商情にて越年するであらうと見られてゐる。

角、平鋼 角鋼16mmは品薄を告げてゐるが依然荷動きは鈍く、平鋼は當所品出廻り順調に搗てゝ加へて伸鐵安値ものゝ市場進出に相場は忽ち下げ脚急となり目下5圓560錢見當にて取引されてゐる模様である。

型鋼 山形鋼は一時底入かと見られてゐたが周境の不良はそれを許さず相變らず不振の域を脱せざるものゝ如く就中細物は中型に鞆寄的下落振りを示し最早これ以上下げ餘地なき有様と云はれてゐる。工形鋼、溝形鋼共弗々品切れ寸法もあるやうであるが「人々は斯界地平線にどんなのでもいゝから希望の光が無いかと無駄骨折つて探し求めてゐる」昨今とて市場にはさしたる強材料ともならず相も變らず悲境に呻きつゝあ

る様子である。

鋼板 薄板は日本黒板共販組合の発表値段よりも安値にて手に入る外注文の入荷弗々ありかたがた製品賣行不振なるを以て好轉の兆見えず。中板は相當荷捌きを見せ市場手當薄と相待つて茲許相場は堅實なる歩調を辿つて居る。厚板は既報の如く依然暗雲低迷の域を脱せず。

線材 本年下半期に於ける 斯界市場の現勢は全く春風春水一時に臻るの觀を呈して居たが最近某社入電はユーエスもの C.F Osaka \$ 31<sup>5</sup>/<sub>8</sub> を報じ剩へ畸形兒的現狀にある我ロツド界はこれから 悪材料の板挟みにあ

つて氣迷商狀を示しつつ年末に接近して行く。

鐵力板 本月は前報の如く 底入後の下値鍛鍊の時期とも云はれ一般に 底値は洗つて底意漸く堅調に窺はれたが、執拗な落潮に打のめされて 買氣は全く萎縮し切つてしまつたので、依然好轉の曙光を見ることは出來ないが兎に角靜かに氣永に 春を迎へればなるまいと云はれてゐる。

旬報發行に就き

恒例により昭和5年の旬報は本號を以て終りとし、昭和6年は1月21日より發行の豫定。

12月中旬線材薄板鐵力板輸入速報

區分 品名	上旬				中旬				下旬		
	神戸	大阪	横濱	計	神戸	大阪	横濱	計	神戸	大阪	横濱 合計
線材	自11月29日 至12月8日	〃	自11月28日 至12月7日		自9日 至18日	自9日 至17日	自9日 至17日				
B.W.G.No.5	78	—	21	99	254	99	83	436			
其他	93	81	10	184	225	200	122	547			
計	171	81	31	283	479	299	205	983			
薄板0.7m/m以下	371	277	—	648	96	22	81	199			
鐵力板	21	503	363	887	467	299	81	847			
計	—	—	—	—	244	—	973	1,217			
上旬計	—	—	—	—	265	503	1,336	2,104			

東京大阪市中相場

寸法	上旬		中旬		下旬		寸法	上旬		中旬		下旬	
	東京 12月 8日	大阪 12月 5日	東京 12月 17日	大阪 12月 15日	東京 月 日	大阪 月 日		東京 12月 5日	大阪 12月 8日	東京 12月 15日	大阪 12月 17日	東京 12月 日	大阪 12月 日
6mm 丸	8.40	8.30	8.20	8.30			溝形鋼	6.60	6.50	6.50	6.30		
9	5.70	5.70	5.60	5.70			1/4" x 2" x 4"	7.30	7.80	7.10	7.50		
12	5.65	5.95	"	5.80			0.312 x 2 1/2 x 5	6.90	7.20	6.90	6.80		
19	5.55	5.80	5.50	"			3/8 x 3 x 6	6.80	6.80	6.70	6.50		
25	"	"	"	"			3/8 x 3 x 8	6.90	7.50	6.80	7.20		
50	6.00	6.80	6.00	6.80			3/8 x 3 1/2 x 10	"	7.00	6.90	6.70		
65	6.10	6.70	6.10	6.60			3/8 x 3 1/2 x 12						
9mm 角	7.00	6.90	6.80	6.10			工形鋼	6.80	7.30	6.80	7.00		
12	6.90	6.60	6.70	"			1/4" x 3" x 6"	8.00	8.20	7.90	7.50		
15	6.80	"	6.50	"			3/8 x 6 x 12	6.80	7.20	6.80	6.80		
19	7.20	6.80	6.60	6.20			0.28 x 4 x 8	7.80	8.20	7.50	7.80		
38	"	7.20	7.00	6.30			0.35 x 5 x 12	7.50	8.80	7.40	8.80		
1/4" x 1 1/2"	6.30	5.70	6.00	5.70			0.36 x 5 x 10						
1/4 x 2	"	"	5.90	"			mm 鋼板	9.10	8.70	9.15	8.60		
1/4 x 3	6.40	6.10	6.20	5.80			1.6 x 3' x 6'	9.40	"	9.40	7.60		
3/8 x 4	6.80	5.80	6.50	"			1.6 x 4 x 8	7.70	7.60	7.70	7.60		
1/2 x 4	"	"	"	"			3.2 x 4 x 8	"	"	7.60	"		
等邊山形鋼							3.2 x 5 x 10	5.40	5.50	5.00	4.50		
6 x 50 x 50	6.30	6.50	6.15	6.30			6.0 x 4 x 8	"	"	"	"		
6 x 65 x 65	"	6.60	6.20	"			6.0 x 5 x 10	"	"	"	"		
9 x 75 x 75	"	6.50	"	"			9.0 x 4 x 8	"	"	"	4.40		
9 x 130 x 130	7.20	7.20	7.10	6.70			9.0 x 5 x 10	"	"	"	"		
12 x 130 x 130	"	"	"	"			薄鋼板 (13枚)	58	5.8 <sup>5</sup>	58	5.8		
15 x 150 x 150	7.30	"	7.20	6.80			米英	57	5.7 <sup>5</sup>	57	5.7		
不等邊山形鋼							八幡	57	5.6 <sup>0</sup>	57	5.6		
3/8" x 2" x 3"	7.10	7.00	7.00	6.60			鐵力板						
3/8 x 3 x 4	6.40	6.70	6.30	6.70			米 {170lbs	21.00	20.00	21.00	19.00		
3/8 x 3 1/2 x 5	6.50	6.50	6.40	6.50			{100	11.40	10.50	11.40	11.00		
3/8 x 4 x 6	7.00	7.20	7.00	6.80			{170	18.50	18.00	18.50	17.00		
1/2 x 4 x 6	7.30	7.50	7.20	"			{100	9.60	10.00	9.60	9.00		
							{170	18.00	17.50	18.00	16.80		
							{100	9.70	9.50	9.70	8.80		
							線材						
							No. 5	81.50	80.00	81.00	78.00		

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は吨り。鐵力板は1箱當り。

昭和5年10月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計
條及丸角平形にして 竿鐵(徑又は幅15m/m) を越えるもの	96	22	238	46	71	—	73	11	—	—	10	566	9,722
〃(丸、角、平の 他の)	42	—	594	145	5	25	7	10	—	—	10	833	24,702
〃(テ アングル形 他)	385	31	680	40	—	—	—	—	—	—	—	1,136	19,823
〃(其 他)	—	228	1,233	4	—	—	—	—	—	—	1	1,466	41,604
レール	2	—	256	—	—	—	—	38	—	—	—	296	11,312
フィッシュ、プレート	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5	817
ワイヤー(巻きたるものに して徑5m/mを 越えるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,021
〃(巻きたる もの其他)	—	358	2,206	502	38	—	330	576	—	—	213	4,223	63,346
鐵板(金屬を鍍せざるものに して厚0.7m/mを 越えるもの)	—	—	40	—	—	—	—	154	—	—	—	194	6,901
〃(金屬を鍍せざるものに して厚0.7m/mを 越えるもの其他)	190	—	25	—	—	—	—	61	—	—	—	276	26,106
〃(金屬を鍍せざるものに して厚3m/mを 越えるもの)	19	172	171	43	—	—	25	117	—	—	—	547	8,809
〃(金屬を鍍せざ るもの其他)	359	70	69	191	—	—	3	146	—	—	—	838	37,500
〃(錫鍍したるもの 葉鐵及葉鋼)	1,656	—	11	—	—	—	—	2,284	—	—	102	4,033	62,639
〃(亞鉛鍍したるもの 其他專金屬を 鍍したるもの)	15	—	11	—	—	—	—	17	—	—	104	147	2,034
鐵線	16	—	90	—	2	—	3	1	1	—	—	113	3,139
リード・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
鐵リボン	102	1	91	71	6	—	27	1	—	—	—	299	4,648
帶(箍鐵)	73	730	649	3,004	—	—	—	19	—	—	20	4,495	37,792
パラゴン・ワイヤー	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	142
線索	36	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	40	426
燃合線	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	3	41
バーブ・ツイスター	—	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
鐵筒及管	13	—	695	—	—	—	—	461	—	—	—	1,173	26,129
特殊鋼(稅表一)	8	—	11	—	19	—	18	—	9	—	6	71	1,759
〃(稅表二)	5	—	1	—	20	—	1	1	—	—	1	29	1,169
鐵道車輛用軸	—	—	—	—	—	—	—	45	—	—	—	45	237
鐵道車輛用タイヤ	—	—	40	—	—	—	—	—	—	—	—	40	508
鐵道車輛用 スリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	3,022	1,614	7,116	4,045	165	25	489	3,945	10	—	467	20,898	392,421
フェロマンガニース	81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81	1,703
フェロシリコン及シリコス ビニールアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60
其他の不可 鍛成鐵合金	—	—	12	—	—	—	—	—	10	—	—	22	489
シートバー (ティンバーを含む)	—	660	2,034	—	—	—	—	—	—	—	—	3,694	59,248
インゴット・ブルーム・ ピレット及スラップ	—	—	26	—	—	—	—	—	—	—	—	26	6,730
ケツグスチール及 パンプスチール	7	—	—	—	—	—	35	—	—	—	—	42	346
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1
合 計	88	660	2,072	—	—	—	36	—	10	—	—	2,866	68,577
銑屑及故鐵	—	—	820	—	—	—	103	102	6,444	10,610	2,530	20,609	343,446
	2,870	—	—	131	—	—	—	10,308	1,519	9,587	3,763	38,178	462,035

昭和 5 年 10 月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

區分 寸法	丸 鋼				計	規格品及特殊鋼				合計
	民間向普通鋼			計		阪神 揚	京濱 揚	其他	計	
6mm	—	—	51	51	—	—	2	2	53	
8	—	—	10	10	—	—	—	—	10	
9	953	1,117	381	2,451	—	—	24	24	2,475	
10	—	—	—	—	—	—	7	7	7	
10.5	—	—	—	—	—	—	2	2	2	
11	170	25	33	228	—	—	—	—	228	
12	522	—	122	644	—	—	12	12	656	
13	—	—	—	—	—	—	1	1	1	
14	—	—	—	—	—	—	2	2	2	
16	—	—	—	—	—	—	303	303	303	
19	—	—	—	—	—	—	104	104	104	
22	—	—	—	—	—	—	107	107	107	
23	—	—	—	—	—	—	1	1	1	
25	—	—	—	—	—	—	55	55	2	
26	—	—	—	—	—	—	9	9	303	
28	—	—	—	—	—	—	29	26	29	
32	—	—	—	—	—	—	22	22	22	
34	—	—	—	—	—	—	10	10	10	
38	—	—	—	—	—	—	72	70	72	
42	—	—	—	—	—	—	11	11	11	
44	—	—	—	—	—	—	8	8	8	
50	70	70	40	180	—	—	9	9	189	
55	45	20	15	80	1	—	4	5	85	
60	35	15	—	50	—	—	—	—	50	
65	40	25	30	95	—	—	1	1	96	
70	—	10	78	88	—	—	2	2	90	
75	15	10	5	30	—	—	—	—	30	
80	—	5	—	5	—	—	1	1	6	
90	20	20	23	63	6	10	1	17	80	
95	—	10	—	10	—	—	3	3	13	
100	—	10	35	45	—	—	2	2	47	
110	1	2	—	3	—	—	—	—	4	
115	3	2	—	5	—	—	—	—	5	
120	5	2	—	7	—	—	—	—	7	
125	9	9	—	18	—	—	—	—	18	
130	8	7	—	15	—	—	—	—	15	
140	3	5	—	8	6	—	—	6	14	
150	3	3	—	6	—	—	—	—	6	
180	36	3	—	39	—	—	1	1	40	
丸鋼計	1,938	1,370	823	4,131	13	10	808	828	4,959	

區分 寸法	角 鋼				計	規格品及特殊鋼				合計
	民間向普通鋼			計		阪神 揚	京濱 揚	其他	計	
12mm	10	40	11	61	—	—	—	—	61	
16	10	65	9	84	—	—	—	—	84	
19	10	63	16	89	—	—	—	—	89	
22	10	30	10	50	—	—	—	—	50	
25	10	42	8	60	—	—	—	—	60	
28	—	5	38	43	—	—	—	—	43	
32	35	35	8	78	—	—	—	—	78	
38	70	45	8	123	—	—	—	—	123	
44	20	32	—	52	—	—	—	—	52	
50	5	20	—	25	—	—	1	1	26	
60	—	—	—	—	—	—	7	7	7	
65	5	15	—	20	—	—	—	—	20	
75	5	20	35	60	—	—	1	1	61	
90	—	5	—	5	—	—	—	—	5	
100	5	10	310	325	—	—	—	—	325	
110	—	—	1	1	—	—	—	—	1	
150	—	9	—	9	—	—	—	—	9	
160	—	4	—	4	—	—	—	—	4	
170	—	4	—	4	—	—	—	—	4	
180	—	41	—	41	—	—	—	—	41	
200	—	13	—	13	—	—	—	—	13	
角鋼計	195	498	454	1,147	—	—	9	9	1,156	
平 鋼										
19mm	20	210	13	243	—	—	1	1	244	
22	22	140	8	170	—	—	1	1	171	
25	28	200	17	245	—	—	1	1	246	
32	20	163	2	185	—	—	—	—	185	
38	65	69	51	185	—	—	1	1	186	
44	24	35	32	91	—	—	1	1	92	
50	83	57	79	219	—	—	3	3	222	
55	—	2	5	7	—	—	—	—	7	
65	79	82	30	191	—	—	3	3	194	
75	27	277	30	334	—	—	21	21	355	
85	—	—	—	—	—	—	1	1	1	
90	—	10	—	10	—	—	20	20	30	
95	—	10	—	10	—	—	—	—	10	
100	—	35	—	35	—	—	8	8	43	
125	—	—	3	3	—	—	1	1	4	
3½"	10	20	—	30	—	—	—	—	30	
平鋼計	378	1,310	270	1,958	—	—	62	62	2,020	
合計	2,511	3,178	1,547	7,236	13	10	876	899	8,135	

昭和 5 年 11 月中當所製品揚地別發送高

(單位噸)

品名	區分	揚 地 別										合 計			
		阪神 地方	京濱 地方	當 所	伊勢 灣	伊勢 灣	山陰 北陸 地方	內海 沿 岸	沿 國 方	奧 羽 地 方	關 門 九 州 地 方		北 海 道 太 方	滿 鮮 關 東 地 方	支 那
鋼材	官廳	3,251	4,404	147	119	427	177	164	536	484	95	—	73	—	9,877
	民間	16,149	9,943	1,577	1,451	—	—	529	574	—	963	511	15	—	31,717
	計	19,400	14,347	1,724	1,570	427	177	693	1,110	484	1,063	511	88	—	41,594
鋼片及鋼塊	副製	292	339	2,190	—	—	1,001	—	1,768	—	—	—	—	—	5,590
	製品	45	117	15,662	59	—	1,548	—	2,443	—	—	—	—	—	19,879
	合計	19,737	14,803	19,576	1,629	427	2,726	693	5,326	484	1,063	511	88	—	67,064

昭和5年10月民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		3/4	2,718	1 1/8	12	計	18,129	平鋼		2 3/4	11
		1 1/16	1	2	96					3	124
		7/8	2,727	2 1/4	84					3 1/2	11
1/4"	708	1	2,757	2 3/8	1	角鋼		1"	32	3 3/4	8
5/16"	75							1 1/4"	52		
3/8"	417	1 1/8	382	2 1/2	54			1 3/8"	1	4	40
7/16"	15	1 1/4	422	2 3/4	4	5/8"	104	1 1/2"	124	6	15
		1 3/8	46	3	26	2	10	1 3/4"	180	其他	31
1/2"	4,358	1 1/2	153	3 1/4	18			2	459	計	1,445
2 1/4"	1	1 5/8	81	3 1/2	25			2 1/4"	2	總計	19,688
2 1/2"	2,249	1 3/4	165	其他	4.9	計	114	2 1/2"	355		
1/8"	1										

昭和5年11月契約高

(單位噸)

品種\區分	官廳小計		民間小計		11月中合計			本年度累計		
	噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額	噸當	噸數	金額	噸當
大 條	128	12,231	4,512	298,753	4,635	311,034	67 <sup>11</sup>	40,373	3,169,694	78 <sup>51</sup>
中 條	67	8,200	754	47,468	821	55,668	67 <sup>81</sup>	14,304	1,245,872	87 <sup>10</sup>
小 條	25	3,267	5,183	292,322	5,203	295,589	56 <sup>76</sup>	33,824	2,311,516	68 <sup>34</sup>
鋼 板	582	69,118	4,084	265,891	4,666	335,009	71 <sup>80</sup>	66,377	5,461,781	82 <sup>18</sup>
重軌條及附屬品	4,878	449,353	248	24,289	5,126	473,642	92 <sup>40</sup>	126,055	11,743,135	93 <sup>16</sup>
輕軌條及附屬品	128	13,882	614	41,138	742	55,020	74 <sup>15</sup>	11,564	1,027,896	88 <sup>89</sup>
線 材	—	—	49	3,461	49	3,461	70 <sup>63</sup>	43,850	3,337,805	77 <sup>03</sup>
黑板、硅素鋼板	—	64	5,568	1,032,307	5,568	1,032,371	185 <sup>41</sup>	29,539	5,583,359	189 <sup>03</sup>
鋸 板	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
車軸外輪鍛成品	36	9,682	15	2,202	15	11,884	233 <sup>02</sup>	4,265	1,076,166	252 <sup>82</sup>
工具鋼、特殊鋼	—	—	556	51,536	556	51,536	92 <sup>69</sup>	783	112,646	143 <sup>86</sup>
其他鋼材	—	—	—	—	—	—	—	92	21,019	228 <sup>47</sup>
鋼材小計	5,839	565,847	21,583	2,059,367	27,422	2,625,214	95 <sup>73</sup>	371,026	35,130,889	94 <sup>69</sup>
鋼片、鋼塊	—	—	4,700	342,828	4,700	342,828	72 <sup>94</sup>	42,213	2,558,008	60 <sup>60</sup>
シートパイプ	—	—	26,283	2,402,195	32,122	2,918,042	92 <sup>40</sup>	413,239	37,688,897	91 <sup>20</sup>
短尺及屑鋼	50	2,115	2,304	105,764	2,354	107,879	45 <sup>83</sup>	27,484	1,513,143	55 <sup>06</sup>
以上計	5,889	567,962	28,587	2,507,959	34,476	3,075,621	89 <sup>22</sup>	440,723	39,202,040	88 <sup>95</sup>
副製品		6,714		265,982		292,696			2,840,163	

昭和5年11月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種\區分	神戶	大阪	橫濱	11月計	前月計	本年累計	前年 同期累計
丸角鋼	263	120	145	526	698	18,599	60,147
平鋼	2	157	—	159	126	2,169	5,832
等 山形	116	90	180	386	270	9,088	14,428
不溝工	276	—	17	293	251	7,993	16,595
等 鋼板	105	—	24	129	243	4,859	4,279
鋼板(0.7mm超)	17	—	—	17	367	4,542	9,259
"(0.7mm以下)	—	—	40	40	251	8,699	20,414
鋸軌線	316	26	305	647	1,172	36,451	43,526
線 材	600	85	—	685	1,788	28,048	76,063
シートパイプ	445	—	1,281	1,726	3,754	48,892	59,492
鋼 管	173	—	—	173	42	9,400	29,582
其他	1,302	513	202	2,017	3,578	58,091	134,059
計	1,872	—	428	2,300	956	25,746	19,904
	150	116	576	824	1,658	23,274	55,518
	353	753	322	1,428	1,028	19,955	29,395
	5,990	1,860	3,513	11,363	16,182	305,806	576,493
硫石	5,080	—	4,923	9,703			
炭	15	—	—	15			
フ	—	—	—	—			
サ	—	—	—	—			
リ	—	—	—	—			
ノ	5	—	13	18			
ク							
レ							
ゾ							
ール							

昭和5年11月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數														
<b>棒鋼の部</b>		44	11	<b>溝形鋼</b>		14	10	<b>鐵力板</b>		<b>其他鋼材の部</b>															
<b>丸鋼</b>	m/m	50	56	230×80	100	14.3	3	B.W.G. No.	33	695	外車輪軸線	428													
		65	71	230×90	63	15	6		31	731		53													
		75	204	250×90	246	15.8	12		30	513		27													
		80	4	300×90	521	16	163		29	111		7													
		8	106	5"×2½"	203	17	6		計	2,050		ナット	7												
		9	1,011	6×3	784	18	8		<b>二級品</b>			リベット	79												
		10	100	7×3	150	19	57		計	32		不良耳付板	26												
		13	64	8×3	57	20	30		<b>未剪斷普通鋼板</b>			普通鋼品	10												
		14	2	10×4	15	22	11		εm/m	3		鍛成鋼品	12												
		15	29	計	2,139	23	5		8	88		<b>其他鋼材合計</b>		642											
16	509	<b>型鋼の部</b>		24	3	9	519	<b>鋼材總計</b>		58,380															
17	4	<b>等邊山形鋼</b>		25	72	10	233	<b>鉄</b>		<b>鐵</b>															
18	27	m/m	20	20	28	6	16	9	本戸洞計	所畑岡	50,092														
19	160		25	129	32	2	計	235			16,897														
20	2		30	144	35	6	<b>疵物鋼板</b>				15,897														
21	48		35	215	38	2	計	136			82,886														
22	147		40	107	50	4	<b>鋼板合計</b>				43														
24	28		45	431	1½"	19	<b>軌條及附屬品の部</b>				43														
25	87		50	964	¼	10	軌	條			普通鋼塊	100,490													
26	23		60	55	41	7							6K	835	電爐塊	1,080									
28	91		65	815	42	10	9	514			坩堝塊	29													
29	2		90	86	44	6	12	435			鑄造	1,410													
32	190	130	863	46	4	30	8,673	計	103,009																
34	15	150	833	50	2	37	9,222	<b>鋼片</b>																	
50	271	200	674	72	43	50	349	内外部計	向向	75,938															
55	34	計	5,336	74	2	計	20,028			3,878															
60	8	<b>不等邊山形鋼</b>		78	20	<b>附屬品</b>		79,816																	
65	37	m/m m/m	75×50	163	82	5	50 K. 用	F.P.	172	シートのバー	3,919														
70	10		75×65	422	84	5						スパイキ	42	2,530											
75	52		90×75	168	94	20	計	214	6,449																
80	7		100×75	833	99	147	<b>軌附合計</b>		20,242																
90	49		125×75	368	2.5	2	<b>線材及製釘材の部</b>		線材	505															
95	3		150×90	196	2.6	7	m/m	5.5			4,125														
100	198		150×100	448	3	105			7	112															
130	47		4"×3½"	113	3.2	751	計	4,237	910																
140	39		計	2,711	3.5	93	<b>線釘合計</b>		1,415																
150	36		<b>球山鋼</b>		4	147	<b>綫鋼板</b>																		
180	15	m/m m/m	180×75	36	2.6	7	m/m	4.5	312																
200	22		200×75	70	3	105				5	23														
計	3,624		計	106	3.2	751				6	446														
<b>角鋼</b>			<b>Z形鋼</b>		3.5	93				8	65														
m/m	20		2	2	4	147				9.5	8														
			22	31	4.5	676				10	237														
			25	29	4.8	7				11	54														
			28	208	5	180				12	120														
			32	61	5.5	13				12.7	5														
			40	6	6	150				13	54														
		44	366	6.3	5	13	54																		
		55	25	7	3	13	54																		
		65	94	8	171	13	54																		
		75	416	9	166	13	54																		
100	358	9.5	8	13	54																				
計	1,596	10	237	13	54																				
<b>平鋼</b>		m/m m/m	230×100	214	14	10	<b>ユニバーサル平鋼</b>		m/m	6.2	72														
m/m	19		230×125	419	14.3	3	6.8	212				284													
			250×125	419	15	6							計	284											
			400×150	82	16	163									<b>硅素鋼板</b>										
			5"×4½"	22	17	6									m/m	0.35	234	耳付鋼板							
			18×7	345	18	15													0.43	17					
			24×7½	983	19	10													計	251	251				
			計	2,811	20	20													<b>綫鋼板</b>		m/m	4.5	269		
			6	150	21	11													計	561				6	292
			7	3	22	11																			
		8	171	23	11	m/m			4.5	312	5														
9	166	24	12	5	23																				
10	237	25	12	6	446																				
11	54	26	7	8	65																				
12	120	27	3	9	22																				
12.7	5	28	3	計	868																				
13	54	29	2	<b>鋼板計</b>			5,514	8,197																	
		30	2	<b>鋼板合計</b>			13,516	13,516																	
		31	2	<b>鋼板の部</b>			13,516	13,516																	
		32	2	<b>鋼板(0.7m以下)</b>			13,516	13,516																	
		33	2	<b>B.W.G. No.</b>		13,516	13,516																		
		34	2	<b>33</b>		13,516	13,516																		
		35	2	<b>31</b>		13,516	13,516																		
		36	2	<b>30</b>		13,516	13,516																		
		37	2	<b>29</b>		13,516	13,516																		
		38	2	<b>28</b>		13,516	13,516																		
				<b>27</b>		13,516	13,516																		
				<b>26</b>		13,516	13,516																		
				<b>25</b>		13,516	13,516																		
				<b>24</b>		13,516	13,516																		
				<b>23</b>		13,516	13,516																		
				<b>22</b>		13,516	13,516																		
				<b>21</b>		13,516	13,516																		
				<b>20</b>		13,516	13,516																		
				<b>19</b>		13,516	13,516																		
				<b>18</b>		13,516	13,516																		
				<b>17</b>		13,516	13,516																		
				<b>16</b>		13,516	13,516																		
				<b>15</b>		13,516	13,516																		
				<b>14</b>		13,516	13,516																		
				<b>13</b>		13,516	13,516																		
				<b>12</b>		13,516	13,516																		
				<b>11</b>		13,516	13,516																		
				<b>10</b>		13,516	13,516																		
				<b>9</b>		13,516	13,516																		
				<b>8</b>		13,516	13,516																		
				<b>7</b>		13,516	13,516																		
				<b>6</b>		13,516	13,516																		
				<b>5</b>		13,516	13,516																		
				<b>4</b>		13,516	13,516																		
				<b>3</b>		13,516	13,516																		
				<b>2</b>		13,516	13,516																		
				<b>1</b>		13,516	13,516																		



昭和5年11月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>				<b>造船材料</b>		<b>造船材料</b>				<b>其他鋼材の部</b>	
丸	鋼	9/16"	20	2 1/2	10	4" x 2"	1	1	10	<b>特殊鋼</b>	
		5/8"	2	3	13	12 x 3 1/2	4	1 1/16	6	丸角平鋼其	79
3/16"	84	7/8"	3	3 1/2	13	17 x 4	2	1 3/16	22	鋼鋼板其他	8
1/4"	20	1	2	4	2	計	7	1 1/4	26	計	58
3/8"	4	1 1/4	2	5	11	丁形鋼	17	1 3/4	13	外計	7
1/2"	4	2	3	6	2	造船材料	(鋼板0.7m/m以下)	1 3/4	148	輪	38
5/8"	1	2 1/2	4	6 1/2	2	6" x 3"	1	計	640		
3/4"	5	3	3	75m/m	22	6 x 4	1	11 sheets	10		
2 1/2"	2	4	11	90	103	6 x 4	1	13	174		
2 3/4"	22	4 1/2	10	100	26	6 x 6	4	B. W. G. No.			
3"	2	5	14	130	3	計	6	26	41		
3 1/4"	2	75m/m	3	150	21	パイリングシート		30	459		
3 1/2"	8	計	158	計	228	計	2,300	計	684	<b>其他鋼材計</b>	201
1	12	平鋼		計	292	鋼板の部		電氣鐵板		<b>鋼管の部</b>	
1 1/16	1			不等邊山形鋼		鋼板(0.7m/m超)		0.014"	122	鋼	
1 1/8	12	3/8"	2	m/m m/m		鋼板(0.7m/m超)		0.5m/m	35	管	
1 1/4	15	1/2"	22	50 x 25	1	1/16"	165	1	3	1/4"	2
1 5/16	10	5/8"	16	90 x 65	21	3/32"	5	計	160	3/8"	38
1 3/8	1	3/4"	26	計	22	1/8"	127	縞鋼板	3	3/4"	45
1 1/2	12	7/8"	15	造船材料		3/16"	4	3/16"	53	1"	53
1 3/16	10	1	38	3" x 2 1/2"	5	1/4"	10	4 75m/m	31	1 1/4	33
1 1/16	10	1 1/4	25	4 1/2 x 3	3	3/8"	5	6	31	1 1/2	35
1 3/4	6	1 1/2	25	5 x 3	1	1/2"	8	造船材料	165	2	32
1 5/8	10	1 3/4	58	5 x 3 1/2	3	3/4"	10	1/4	27	2 1/2	31
1 7/8	1	2	21	5 x 4	3	7/8"	8	計	192	3	25
2	17	2 1/4	12	6 x 3 1/2	17	1"	2	鋼力板		3 1/2	29
2 1/2	47	2 1/2	36	m/m m/m		3 sheets	10	100lbs	95	4	15
2 3/4	15	3	12	75 x 65	1	4	3	170	155	4 1/2	147
2 1/2	9	3 1/2	5	90 x 75	4	B. W. G. No.		100 sheets	84	5	2
2 3/4	4	3 5/8	10	100 x 90	5	10	1	mixed	61	6	20
3	7	4	20	110 x 90	4	11	2	oilsize	945	6 1/2	3
3 1/4	2	5	14	130 x 75	6	12	3	othes	972	7	29
3 1/8	21	6	10	165 x 75	2	13	4	計	2,312	8	64
3 3/4	3	22m/m	11	180 x 75	1	14	4	<b>鋼板合計 3,988</b>		9	2
4 1/8	1	60	1	180 x 90	1	15	5	<b>軌條及附屬品の部</b>		10m/m	1
4 1/2	1	70	1	220 x 92	34	16	24	軌	條	28	9
4 3/4	2	計	380	130 x 90	3	17	1	12 lbs	173	35	33
5 1/4	8	造船材料		280 x 90	11	18	1	計	173	45	81
7	31	2 1/2"	2	計	104	19	1	繼目板	4	48	4
4m/m	2	4	1	球山形鋼		20	1	12 lbs	4	63.5	6
6	73	m/m		造船材料		22	5	計	4	75	19
16	1	240	4	5" x 3"	1	22	5	計	4	78	1
110	5	計	7	6 x 3	1	1m/m	12	<b>軌附合計 177</b>		Pipe fitting	16
180	1	六角鋼	20	9 x 3 1/2	5	1.5	32	<b>線材の部</b>		其他	11
計	504	八角鋼	176	m/m m/m		1.85	51	線		計	841
造船材料		其他の棒鋼	44	165 x 75	5	其他	3	3m/m	1	<b>鋼材總計 11,348</b>	
3/4"	1	計	44	180 x 90	4	造船材料		4	2	シート	1,424
2	3	<b>棒鋼計 1,306</b>		200 x 90	7	1 1/5"	10	11	9	バー	
2 1/2	1	<b>型鋼の部</b>		230 x 90	4	5/16"	7	B. W. G. No.		ブルーム	43
3	1	等邊山形鋼		250 x 90	8	3/8"	8	6	561	ピレット	204
70m/m	2	3/4"	30	計	37	1/2"	12	5	1,411	フエロム其他	286
78	2	1	24	工形鋼		5/8"	7	3	2	クロム其他	
88	1	1 1/4	10	8" x 6"	40	3/4"	6	0	21	ケック	
103	2	計	64	溝形鋼		1 1/8"	17	00	10	スチール	25
115	1			計	10	其他		<b>線材合計 2,017</b>			
180	3					1 1/4"	1				
計	17					5/16"	7				
角	鋼					3/4"	5				
3/8"	41					1 1/2"	3				
1/2"	33					1 3/8"	1				

昭和5年上半期當所品種寸法別生産高 (其の1) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		<b>角鋼</b>		<b>六角鋼</b>		90×60	47	300×150	1,397	2.7	1
<b>丸鋼</b>		<i>m/m</i>		.436"	1	90×75	486	350×150	30	2.9	24
				.596	12	100×65	79	400×150	275	3	468
5.5	22	16	1,070	.706	2	100×75	1,634	計	10,572	3sheets	32
6	2,022	19	756	.816	14	100×90	573	<b>Z形鋼</b>			
7	6	22	240	1.006	35	115×75	9	<i>m/mm/m m/m</i>		1.25lb	1
7.5	1	25	952	1.096	17	125×75	749	70×50×40	10	計	16,134
8	544	28	186	1.196	14	125×90	3,329	100×50×40	425	<b>鋼板(3m/m超)</b>	
8.5	76	30	4	1.296	12	125×100	428	100×70×60	178	<i>1/8"</i>	20
9	22,694	32	976	1.386	27	150×75	10	130×80×70	25	<i>3/16"</i>	1
9.5	70	34	1	1.575	22	150×90	941	150×75×65	206	<i>3/8"</i>	1
10	11	35	3	1.665	11	150×100	1,608	150×85×75	13	<i>7/16"</i>	1
11	607	36	3	1.855	5	180×90	12	計	857	<i>1/4"</i>	59
12	7,876	38	627	2.045	2	計	12,806	<b>T形鋼</b>		<i>3/8"</i>	11
13	7	40	7	2.215	4	<b>球山形鋼</b>		4"×3"	9	<i>13/32"</i>	2
14	10	44	747	計	178	5 1/2"×3"	8	5 1/2"×3	19	<i>7/8"</i>	9
15	56	45	2	<b>火床用平鋼</b>		計	8	計	28	<i>1/2"</i>	61
16	29	46	6	<i>m/m m/m m/m</i>		<b>溝形鋼</b>		<b>型鋼計</b>	81,534	<i>3/16"</i>	79
18	47	50	1,238	4×10×70	3	5"×2 1/2"	3,442	條鋼合計	177,502	<i>19/32"</i>	1
19	30	55	4	5×13×90	10	6×2 1/2	2,462			<i>3/8"</i>	35
20	3	60	20	計	13	6×3	4,439			<i>1 1/4"</i>	24
21	59	65	1,383	<b>半圓鋼</b>		6×3 1/2	122	<b>鋼板の部</b>		<i>3/4"</i>	29
22	143	70	22	1/4"×3/4"	1	7×3	1,402	(鋼板0.7m/m以下)		<i>7/8"</i>	2
23	5	75	1,340	1/2×1	1	7×3 1/2	585	<i>m/m</i>		1 1/16	1
24	47	80	28	1/2×1 1/2	1	8×2 1/2	677	0.4	2	1 1/4	42
25	71	90	530	1/2×2	2	8×3	1,848	0.5	9	1 3/16	6
26	11	100	1,445	計	5	8×3 1/2	594	0.7	29	1 1/2	75
28	26	110	26	<b>還鐵</b>		<i>m/m m/m</i>		B.W.G.No.		1 5/8	7
30	18	120	33	計	24	75×40	859	33	886	<i>m/m</i>	10
32	228	130	141	<b>棒鋼計</b>	95,968	100×50	4,360	31	692	3.17	12,774
35	2	135	268	<b>型鋼の部</b>		230×80	641	30	7,677	3.2	292
36	115	150	110	<b>等邊山形鋼</b>		230×90	773	29	342	3.5	33
38	58	170	78	25m/m	74	250×90	1,775	23	574	4	814
40	124	計	13,398	30	47	300×90	1,722	13sheets	5,309	4.5	11,704
42	19	<b>平鋼</b>		35	62	380×100	713	7	193	4.8	9
44	89	<i>m/m</i>		40	4,594	計	26,414	計	15,713	5	537
45	4			45	2,193	<b>工形鋼</b>		<b>鋼板(3m/m以下)</b>		5.25	3
46	5			50	6,791	3"×3"	12	.047"	10	5.5	23
48	5			55	144	4×3	146	.062	4	5.7	46
50	2,057			60	3,121	5×3	142	.064	5	6	15,405
55	1,392			65	5,732	5×4 1/2	12	.066	71	6.4	27
60	500			70	847	6×3	530	8m/m	8	6.5	13
65	1,481			75	3	6×5	213	1	199	7	467
70	521			80	3	7×4	97	1.2	75	7.5	8
75	1,595			85	3	8×5	14	1.4	7	7.94	1
80	530			90	3,890	14×6	398	1.5	7	8	4,391
85	37			95	3	16×6	382	1.6	355	9	16,375
90	570			100	3	18×7	1,368	1.8	8,186	9.5	119
95	344			105	5	20×2 1/2	145	1.85	328	10	1,828
100	844			110	3,890	20×7 1/2	568	1.9	1,456	11	1,168
110	17			115	2	24×7 1/2	1,660	2	3	12	9,245
115	189			120	1,952	<b>不等邊山形鋼</b>		2.1	180	12.5	1
120	110			125	2,806	<i>m/mm/m</i>		2.2	1	13	514
125	72	<i>3 5/8"</i>		130	1	100×75	87	2.3	3,646	14	490
130	94	<i>m/m</i>		140	1	125×75	81	2.4	3	15	400
140	39	95		150	1,843	150×75	115	2.5	359	16	2,911
150	51	100		160	6	150×125	2	2.6	582	17	87
180	36	115		180	1,037	200×100	573			18	226
200	75	125		180	1,087	200×150	695				
計	45,694	計	36,656	180	22	250×125	1,630				

(昭和5年上半期) 當所品種寸法別生産高 (其の2) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
19	1,676	100	165	9	22	軌條及附屬品の部		トラックボルトナット	263	特殊鋼成品	347	
19.05	14	R.W.G.No.		11	1	軌		スパイキ	449	外車輪軸	1,983	
20	202	8	5	12	5	條		計	9,760	特殊鋼板線	1,257	
21	2	60LBS	416	計	1,899	12LBS		軌附合計		2	2	
22	580	計	5,332	硅素鋼板		16		166,830		工具鋼	4	
24	21	鋼板計 117,179		m/m		18		線材		工座鋼	61	
25	591			0.35	1,996	20		m/m		踏釘鋼帶	7	
26	30			0.43	651	25		5.5		ドーム	6	
28	25	鐵力板		計	2,647	30		6		リング	4	
28.6	7			ユニバーサル平鋼		30 <sup>K</sup>		7		ボルトナット	399	
29	5	B.W.G.No.		9m/m	7	8		8		リベット	308	
30	14	33	4,951	10	49	8		9		ナット	17	
31	90	31	3,286	11	151	9		10		其他鋼材計		5,535
32	31	30	1,339	12	45	9		11		鋼材總計		523,510
33	115	29	610	12.7	10	10		12				
34	13	計	10,186	13	1	10		12				
35	28	縞鋼板		14	57	11		12				
36	28	1/8"	20	15	25	12		15				
37	184	3/16"	14	19	549	12		15				
38	98	1/4"	64	20	184	12		15				
40	13	5/16"	17	22	22	12		15				
44	1	3/8"	1	25	109	12		15				
45	236	3m/m	1	25.4	2	12		15				
46	2	3.2	14	26	1	12		15				
47	51	4	1	32.7	2	12		15				
48	1	4.5	653	不明	88	12		15				
50	19	5	1	計	1,302	12		15				
51	9	6	923	鋼板合計 133,213		12		15				
67	2	6.35	11			12		15				
75	5	6.5	1			12		15				
85	57	7	32			12		15				
90	66	8	119			12		15				
				附屬品				其他鋼材の部				
				F.P. 6 <sup>K</sup> 用				特殊鋼成品				
				30				311				
				37				525				
				40								
				50								
				計				40.430				
				計				157,070				
				計				18,972				
				計				18,972				
				計				21,458				
				計				19,517				
				計				505				
				計				560				
				計				414				
				計				462				
				計				21,458				
				計				18,972				
				計				18,972				
				計				40.430				
				計				311				
				計				525				

(昭和5年上半期) 民間品種寸法別生産高 (其の1) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		36	1,277	角鋼		55	4	32	86	125	45
		38	3,373	m/m		65	73	36	61	150	60
		42	1,284	9		67	58	38	54	160	33
丸鋼		44	2,233	11		75	107	39.9	164	其他	78
6m/m	1,836			12		90	39	41	33	計	5,512
8	1,200			14		95	6	43.7	33	六角鋼	
9	9,574			16		100	27	44	220		
11	353			17		其他	28	46.5	30	521"	
12	19,582			19		計	3,518	50	1,461	596	
15	193			21		平鋼		55	22	706	
16	20,808			22		14m/m	1	60	48	816	
18	135			25		19	4	65	1,384	916	
19	24,597			28		21	14	70	2	1,096	
21	79			32		22	73	75	571	1,196	
22	20,367			36		25	53	80	26	1,296	
25	20,232			38		26	86	90	219	1,386	
23	4,451			42		26.1	57	93	51	1,476	
30	13			44		28	3	95	24	1,575	
32	5,123	其他		48		30.9	101	100	395	1,665	
34	54	計		50				115	20	1,855	
		141,833		239							

(昭和5年上半期)民間品種寸法別生産高(其の2)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
1'855	17	<b>不等邊山形鋼</b>		34	22	96''	42	25'4	7	4	16
2'045	4	<i>m/m m/m</i>		36	13	98	3	26	1	4½	3
2'215	15	100×75	3,882	½	66	1	1,984	30	1	5	33
2'575	8	125×90	378	⅜	11,271	1'020	7	32	39	5¼	35
3'015	4	計	4,260	38	144	1'040	3	35	1	5½	20
計	162	<b>十字鋼</b>		40	359	1'060	43	36	17	其計	19
八角鋼		1''	42	41	1	1'080	1	38	45	熱間仕上繼目無鋼管	979
5/8''	53	計	42	42	170	1½	110	40	9	1½''	575
¾''	353	<b>型鋼計 53,402</b>		⅞	4,768	1'20	3	45	53	1½	3,742
⅞	57	<b>鋼板の部</b>		44	273	1⅜	43	70	2	1¾	111
1	185	<b>鋼板(0.7m/m以下)</b>		45	7	1⅝	31	72	2	1¾	2
1¼	93	<i>U.S.G.No.</i>		46	340	1⅞	1	86	124	2	6,632
1½	25	30½	51,939	47	9	1¾	110	96	244	2½	23
其他	10	30	2,288	48	8	1¾	3	不明	1,565	2¾	112
計	776	29	410	48	167	2	15	計	77,930	2¾	4
楕圓鋼		28	10,503	½	6,242	1¾	236	<b>鋼板合計 157,085</b>		3	2,048
1½''×1'	10	27	808	51	1	1¾	16	<b>軌條及附屬品の部</b>		2¾	55
5/8×1	10	26	1,216	52	243	1¾	23	<b>軌</b>		3	79
¾×1	10	25	177	53	2	1¾	2	<b>12LBS</b>		3¼	3,639
計	30	24	421	½	19	2	8	<b>計</b>		3½	89
リップバー		24	421	54	135	2½	11	<b>1,012</b>		3¾	952
¾''	442	不明	4,057	55	8	2	78	<b>1,012</b>		4	13
½	454	<b>鋼板(3m/m以下)</b>		56	53	2½	2	<b>軌附合計 1,012</b>		4¼	2,166
⅝	261	<i>U.S.G.No.</i>		57	31,52	2¾	2	<b>線材の部</b>		4½	41
¾	344	¾''	136	58	4	2¾	13	<b>線</b>		4¾	147
⅞	384	¾''	18	59	176	2¾	22	<b>材</b>		5	59
1	504	22	587	60	4	3	3	<b>B.W.G.No.</b>		5¼	898
1½	177	21	2	62	31	3¼	19	5		5½	2
其他	12	20	1,582	63	101	3½	4	6		5¾	223
計	2,578	19	15	64	10	3½	10	7		6	647
溝付平鋼		18	1,645	65	4,789	4	5	8		6½	1,081
⅝''×3''	407	17	6	66	76	4½	18	9		其計	47
⅞×3½	4	16	56	67	25	4¾	2	10		熱間仕上鍛接鋼管	24,708
½×3	6	15	17	68	51	5	209	11		½''	1,221
½×3½	242	13	6	69	72	5	58	計		¾	2,777
½×4	37	12	271	70	53	5	73	<b>鋼管の部</b>		1	6,388
計	696	11	4,336	71	1,387	6	1,294	<b>冷間引抜</b>		1¼	4,931
棒鋼計 155,105		10	2,284	72	325	6¼	29	<b>繼目無鋼管</b>		計	15,317
型鋼ノ部		9	51	73	132	7	21	<b>鋼管合計 47,705</b>		鋼管	
等邊山形鋼		8	2,208	74	7	8	2,174	<b>鋼管合計 47,705</b>		管	
<i>m/m</i>		7	6	75	193	9	505	<b>冷間引抜</b>		內徑	151
25	349	⅞	2,208	76	28	9½	5,646	<b>繼目無鋼管</b>		160m/m超	6,550
35	411	¾	6	77	24	10	326	½''		計	6,701
40	984	⅝	2,208	78	2,620	11	1,644	¾		鋼管合計	47,705
45	293	⅞	6	79	47	12	782	⅝		其他鋼材の部	
50	6,233	20	6	80	6	12½	3,138	¾		グリットバー	6
65	11,175	21	1	81	76	13	257	⅞		計	6
75	14,619	22	3	82	3	14	941	1		外輪	4,562
80	313	⅞	271	83	432	15	19	1¼		ラベツト	5
90	6,507	¾	3,668	84	1	16	778	1½		其他鋼材合計	4,573
100	6,649	⅝	49	85	3	17	1	1¾		鋼材總計	437,143
其他	1,567	⅞	3	86	28	18	14	2			
計	49,100	26	3	87	8	19	281	2½			
		28	9	88	2	19'05	—	2¾			
		¾	433	89	1,162	20m/m	8	3			
		⅝	21	90	8	22	32	¾			
		⅞	3,928	91	12	24	1	¾			
		¾	3	92	251	25	149	¾			
		¾	2	93				¾			

昭和5年上半期 神戸、大阪、横濱三港鋼材品種寸法別輸入表 (單位噸) (其1)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		3 1/8	55	90	21	角	鋼	2 1/2	577	7	2
丸	鋼	3 1/4	164	100	1	3/16	61	2 3/8	1	12	9
		3 1/2	206	110	5			2 5/8	1	計	49
		3 3/4	64	125	6	5/16	50	2 3/4	1		6,562
		4	87	130	1	3/8	102	3	295		
		4 1/16	5	145	11	7/16	20	3 1/4	3	半丸鋼	94
		4 1/4	218	175	5	1/2	81	3 1/2	152	造船材料	6
		4 1/2	389	210	5	9/16	20	3 5/8	87	計	100
		4 3/8	5	325	5	5/8	80	3 3/4	24		
		4 3/4	77	其他	13	11/16	5	4	97	六角鋼	184
		5	356	計	11,860	3/4	47	4 1/8	2		
		5 1/16	6	造船材料	6	7/8	12	4 1/4	1	八角鋼	315
		5 1/4	52	78/32	6	1 1/8	10	4 5/16	2		
		5 1/2	157	15/32	6	1 1/4	1	4 1/2	23	其他	196
		6	256	1/2	7	1 1/2	84	4 3/8	2	棒鋼	23
		6 1/4	53	7/32	7	1 3/4	73	4 1/2	2	造船材料	219
		6 1/2	109	17/32	2	2	29	5	123	計	
		7	163	19/32	141	2 1/2	39	5 1/2	125		
		7 1/2	37	3/8	10	3	45	5 3/8	2		
		8	196	5/8	413	3 1/4	53	6	410		
		8 1/4	10	3/4	13	4	2	6 1/2	3	<b>型鋼の部</b>	
		8 1/2	11	7/8	1	3 1/2	2	7 1/2	10	等邊山形鋼	
		9	73	1 1/8	455	4	38	8	9	3/4"	65
		9 1/2	15	1 1/4	95	4 1/2	49	9	10	1	301
		9 1/16	1	1 1/2	9	5	130	10	12	1 1/4	423
		10	112	1 3/4	4	5 1/2	133	12	12	1 1/2	1,121
		11	6	2	20	6	72	13	13	1 3/4	223
		12	29	1 5/8	2	8	33	14	14	2	69
		3mm	10	1 7/8	8	8 5	10	15	15	2 1/2	26
		3 3/8	1	2	8	9	21	16	16	3	429
		4	11	2 1/16	1	12	20	17	17	3 1/2	375
		5	31	2 1/4	111	14	40	18	18	4	326
		6	110	2 3/8	2	14	5	19	19	4 1/2	23
		7	9	2 1/2	81	15	23	20	20	5	217
		7 1/2	181	2 5/8	71	16	6	21	21	6	451
		8	1	2 3/4	4	17	5	22	22	6mm	91
		9	945	3	294	18	8	23	23	100	23
		9 1/2	1	3 1/8	117	19	11	24	24	130	97
		10	1	3 1/4	6	20	5	25	25	150	193
		11	1	3 1/2	82	21	8	26	26	200	332
		12	103	3 3/8	3	22	5	26 1/2	26 1/2	其他	40
		12 1/2	52	3 1/2	10	23	6	30	30	計	4,825
		12 7/8	29	3 3/4	4	24	8	31	31	造船材料	
		13	1	4 1/4	1	25	6	32	32	2"	5
		15	49	5	1	28	5	33	33	2 1/2	66
		19	232	5 1/2	5	32	8	34	34	3	109
		22	101	7	6	38	11	35	35	3 1/2	459
		25	15	15mm	6	44	5	38	38	4	132
		31 1/8	2	16	37	47 1/2	8	40	40	4 1/2	18
		3 1/2	10	18	88	1	3	41	41	5	323
		3 3/4	5	19	33	1 1/4	258	42	42	6	165
		34	1	21 1/2	87	1 1/2	293	43	43	8	5
		35	1	22	56	1 3/4	1	44	44	8mm	2
		36	16	32	1	2	477	45	45	75	40
		38	11	34	11	2 1/8	1	46	46	90	12
		44	4	39	9	2 1/4	425	47	47	110	23
		45mm	5	計	2,328	2 3/8	8	48	48	150	2
		47	19	計	14,188	2 1/2	1	49	49	計	1,704
		48	11			2 5/8	1	50	50	計	6,529
		60	64			3	479	51	51		
		70	27			3 1/2	2	52	52		
		80	37			4	75	53	53		

昭和5年上半期 神戸、大阪、横濱三港鋼材品種寸法別輸入表 (其2) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
不等邊山形鋼		mm mm		10×5	533	7×3½	5	造船材料			
2½"×2"	78	230×90	7	10×6	522	8×1'92	31	6"×4"	4	2'5	21
2¾×2	2	250×90	262	12×5	835	8×2¼	41	計	4	3	124
3×2	70	計	1,639	12×6	902	8×2½	18	計	4	4	3
3×2½	5	計	4,214	12×6½	14	8×3½	32	計	425	4.5	278
3½×2½	29	球山形鋼		12×6¾	1	8×4	158	計	425	5.5	29
3½×3	43	6"×3"	15	12×10	148	9×3	72	パイリン			
4×¾	30	6×3½	30	13×5	87	9½3½	11	カシート			
4×2½	10	7×3	2	14×6	96	9×4	14	17,475			
4×3	238	7×3½	3	15×5	31	10×2'6	20	鋼板の部			
4×3½	121	8×3	7	15×5½	273	10×3	39	鋼板(0.7mm超)			
5×3	398	8×3½	8	15×6	154	10×3½	78	⅛"	2,950	12	21
5×3½	585	9×3½	25	15×7	6	10×4	72	⅜"	1,170	13	21
5×4	17	10×3½	1	15×11¼	25	12×3	50	½"	2,676	16	5
6×3	108	11×3½	16	15.09×6.785	4	12×3½	397	⅝"	913	19	5
6×3½	201	計	107	16×6	249	12×4	87	¾"	29	40	10
6×4	501	造船材料		17.88×11.75	4	12×6	318	7/8"	1,675	B.W.G.No.	8
7×3½	4	5"×2½"	3	18×6	327	12×8½	32	1"	386	10	1
mm mm		5×3	26	18×7	485	15×3¼	38	1¼"	1,258	11	39
60×5	20	5½×3	10	18×8.75	2	15×4	408	1½"	3	11½	2
90×6	20	6×3	192	18×18	23	5	55	1¾"	1,697	12	22
100×90	92	6×3½	124	20×6¼	159	8	51	2"	123	12½	9
130×100	3	6×3½	30	20×7½	137	10	35	2¼"	195	13	104
計	2,575	6½×3	30	20×12	6	20	15	2½"	94	13½	13
造船材料		6½×3½	30	22×9¼	4	mm mm		3"	17	14	321
2½"×2"	1	7×3	58	24×7	282	100×50	318	3¼"	131	14½	1
2¾×2	18	7×3½	34	24×7½	385	200×75	76	4"	131	15	322
3×2½	4	8×3	165	24×9¾	2	250×100	63	4½"	120	15½	6
3½×2½	9	8×3½	168	24×12¼	22	300×100	130	5"	16	16	193
3½×3	111	8½×3	4	25.88×13.73	9	其 他	84	5½"	91	17	71
4×3	424	8½×3½	37	26×13¾	40	計	3,755	6"	10	18	281
4½×3	2	9×3½	474	28×10	287	造船材料		6½"	5	19	42
5×3	73	9×4	1	28½×10.03	32	3½"×2"	2	7"	115	20	108
5×3½	93	9½×3½	2	30×15	309	3½"×3½	15	7½"	3	21	4
5×4	2	10×3½	80	33×15¾	7	6×3	4	8"	32	22	40
5½×3	1	11×3½	189	mm mm		7×3½	2	8½"	34	22	40
6×3½	282	12×3½	260	160×65	11	8×3	5	9"	36	22	40
6½×3½	35	13½×4	59	475×178	34	8×3½	15	9½"	38	22	40
6×4	57	mm mm		18"	22	10×3½	25	10"	39	22	40
7×3	13	150×75	20	其 他	14	11×3½	1	10½"	40	22	40
7×3½	40	180×75	19	計	7,569	12×3½	13	11"	42	22	40
8×6	2	180×90	20	造船材料		15×4	32	11½"	44	22	40
11×3½	17	200×75	3	6"×5"	4	15×6	30	12"	46	22	40
12×3½	17	200×90	18	12×6	2	計	144	12½"	5	22	40
mm mm		230×90	60	計	6	T形鋼		13"	54	22	40
75×65	4	250×90	88	計	7,575	1"×1"	10	14"	52	22	40
90×75	11	280×10	175	溝形鋼		1"×1½"	60	15"	54	22	40
100×75	22	300×90	59	¾"×¾"	5	2½×2½	32	16"	56	22	40
130×65	3	計	2,408	3½×2	54	3×3	78	17"	58	22	40
130×75	1	計	2,515	3½×1½	11	3½×2½	22	18"	60	22	40
130×90	2	工形鋼		4×1.58	70	4×4	72	19"	62	22	40
150×70	33	4"×3"	46	4×2	1	5×3½	21	20"	64	22	40
150×75	8	5×3	141	5×1.75	269	5×4	6	21"	66	22	40
150×90	11	5×4½	23	5×2½	77	6×3	3	22"	68	22	40
165×75	4	6×3	23	6×1.92	165	計	421	23"	70	22	40
180×75	32	6×4½	5	6×2	72	造船材料		24"	72	22	40
180×90	14	6×5	15	6×2½	14	⅛"	12	25"	74	22	40
200×75	23	7×4	20	6×3	170	⅜"	7	26"	76	22	40
200×90	1	8×4	134	6×3½	79	½"	3	27"	78	22	40
		8×5	314	7×3	20	¾"	1	28"	80	22	40
		8×6	365			1"	1	29"	82	22	40
						1½"	1	30"	84	22	40
						2"	1	31"	86	22	40
						2½"	1	32"	88	22	40
						3"	1	33"	90	22	40
						3½"	1	34"	92	22	40
						4"	1	35"	94	22	40
						4½"	1	36"	96	22	40
						5"	1	37"	98	22	40
						5½"	1	38"	100	22	40
						6"	1	39"	102	22	40
						6½"	1	40"	104	22	40
						7"	1	41"	106	22	40
						7½"	1	42"	108	22	40
						8"	1	43"	110	22	40
						8½"	1	44"	112	22	40
						9"	1	45"	114	22	40
						9½"	1	46"	116	22	40
						10"	1	47"	118	22	40
						10½"	1	48"	120	22	40
						11"	1	49"	122	22	40
						11½"	1	50"	124	22	40
						12"	1	51"	126	22	40
						12½"	1	52"	128	22	40
						13"	1	53"	130	22	40
						13½"	1	54"	132	22	40
						14"	1	55"	134	22	40
						14½"	1	56"	136	22	40
						15"	1	57"	138	22	40
						15½"	1	58"	140	22	40
						16"	1	59"	142	22	40
						16½"	1	60"	144	22	40
						17"	1	61"	146	22	40
						17½"	1	62"	148	22	40
						18"	1	63"	150	22	40
						18½"	1	64"	152	22	40
						19"	1	65"	154	22	40
						19½"	1	66"	156	22	40
						20"	1	67"	158	22	40
						20½"	1	68"	160	22	40
						21"	1	69"	162	22	40
						21½"	1	70"	164	22	40
						22"	1	71"	166	22	40
						22½"	1	72"	168	22	40
						23"	1	73"	170	22	40
						23½"	1	74"	172	22	40
						24"	1	75"	174	22	40
						24½"	1	76"	176	22	40
						25"	1	77"	178	22	40
						25½"	1	78"	180	22	40
						26"	1	79"	182	22	40
						26½"	1	80"	184	22	40
						27"	1	81"	186	22	40
						27½"	1	82"	188	22	40
						28"	1	83"	190	22	40
						28½"	1	84"	192	22	40
						29"	1	85"	194	22	40
						29½"	1	86"	196	22	40
						30"	1	87"	198	22	40
						30½"	1	88"	200	22	40
						31"	1	89"	202	22	40
						31½"	1	90"	204	22	40
						32"	1	91"	206	22	40
						32½"	1	92"	208	22	40
						33"	1	93"	210	22	40

